

山陰道ニ對スル政府ノ施政方針ニ付質問

一山陰縱貫線及廣濱鐵道線ハ孰レモ鐵道布設法中豫定線ニシテ一期線以前ニ置カレタリ其故ハ之カ制定當時ハ軍事上ヨリ寧ロ商業上ニ重キヲ置キタルノ爲メナリ然レトモ現時形勢ハ一變シ山陰道ハ軍事上商業上共ニ鐵道ノ急設ヲ要スルニ至レリ依テ政府ハ國家經濟ノ許ス限リ官設速成ヲ期セサルヘカラサルモノトス由テ之レニ對スル政府ノ意向ハ如何

一鳥取縣下境港島根縣下濱田港ノ兩港ハ山陰道中有數ノ良港ニシテ已ニ特別輸出港トナリタリト雖未ダ港灣改築ノ成ラサルタメ船舶ノ出入完全ナラス而シテ隱岐國西郷港浦郷港出雲國三保關港鷺港安來港石見國溫泉津港大浦港長濱港久手港其他幾多ノ港灣アリト雖モ何レモ現在ノ儘ニテハ極メテ不完全ナリ然レトモ一旦之カ調査改築ヲナストキハ海運發達シテ商業上大進歩ヲ來スヤ必セリ是等ニ就テ政府ハ調査ノ方針ヲ取ラントスルヤ然ラハ其順次設計ハ如何

一島根縣下隱岐國航海ハ島根縣會ニ於テ地方稅ヲ以テ一時之ニ補助ヲ與ヘ造船或ハ汽船買入等ヲナサシメ目下航海ヲ爲シツ、アリト雖モ一時ノ地方稅補助位ニテハ尙不完全タルヲ免レス到底國庫ノ補助ヲ仰カサルヘカラサルモノト信ス政府ハ是等離島ニ對スル航海國庫補助ニ就テハ如何ナル方針ナルヤ

一政府ハ島根縣下ニ於テ出雲國美保關地嶺鼻及濱田馬島燈臺ノ建設ヲセラレタリト雖モ他ニ燈臺急設ノ必要ヲ感スルノ箇所尠シトセス其尤モナルモノハ出雲國日御碕石見國溫泉津隱岐國黑島大波加島ナリトス此等ニ對スル政府ノ調査及方針如何

一山陰道中殊ニ島根縣ハ郵便及ヒ電信局ノ設置少ナク從ツテ集配區域ノ廣濶ニ過キ商業上交通上不便甚タ大ナリトス其増設ヲ要スルノ箇所ニシテ電信局急設ノ箇所ヲ舉クレハ左記ノ如シ而シテ之ニ對スル調査及ヒ其方針ハ如何

電信局(島根縣下ニ於テ尤モ急設ヲ要スルモノニ就イテ之ヲ舉クレハ)

八束郡 加賀 本庄 能義郡 母里 簸川郡 小田 宇龍 鷺

邑智郡 粕淵 出羽 那賀郡 三隅 鹿足郡 日原 六日市

一山陰道ハ地形山交通不便ノ地ナルニモ不拘登記所ノ設置少ナク爲ニ感スルノ不便多キ今日ナルニ這回民法改正トナリタル曉ニハ其用務ノ煩繁ナルト同時ニ益々其不便ヲ來スヘキハ瞭然タリ依テ勢ヒ其増設ヲナサ、ルヘカラサルモノト信ス之ニ對スル政府ノ調査及方針如何

一山陰道地方ハ種馬所ヲ設置スヘキ適當ノ地ナレトセス政府ハ之レ等ノ調査ヲ遂ケテ早晚鳥取島根兩縣下ニ於テ一箇所位ハ設置スルノ方針ナルヤ

如何

一島根縣ハ是迄地方長官ノ更迭頻々トシテ太甚シキニ過クルモノト思慮ス明治五年縣制トナリタル以來明治三十一年四月迄縣令知事ノ更迭ノ平均スルニ殆ント二年毎ニ交迭アルカ如シ地方長官ノ交迭アレハ從テ屬僚ノ異動ハ已ムヲ得サルナリ是等ハ縣下ノ爲尤モ不利ナル事實ニシテ縣民ノ尤モ慨嘆スル所ナリ固ヨリ時ノ政府ノ都合ニ依ルヘキモ伊藤內閣ノ意向ハ更ニ如何

明治三十一年五月二十八日

提出者 恆松 隆慶
贊成者 野坂茂三郎
外二十九名

○副議長(元田肇君) 是ヨリ會議ヲ開キマスル

○沼田宇源太君(七十二番) 議長

○副議長(元田肇君) 沼田宇源太君

(沼田宇源太君演壇ニ登ル)

○沼田宇源太君(七十二番) 諸君、昨日本員等ハ鐵道建設ニ關スル建議案ヲ政府ニ提出致シタノデゴザイマス、一應簡單ニ其理由ヲ申上グヤウト思ヒマス、此質問ノ趣意ト云フモノハ、極テ簡單ナル質問デゴザイマス、又分リ切ツタ事柄デアルノデゴザイマス、謂ハハ政府ニ向ツテ質問スル必要ノナイ、質問シナクテモ、政府ガ必ズヤツテ居ルベキコト、思ヒマス、サリオガラ悲イコトニハ、今日ノ政府ハ極リ切ツテ居ルコトヲ果シテヤツテ居ルカ、ドウカト云フヲ聞カナケレバナラヌ必要ノアル政府デゴザイマス、デ、本員ノ質問スル要點ト云フモノハ、要スルニ鐵道敷設法ノ第一期線路、此線路ハ此線路ノ工事ハ近頃一向涉シテ居ラス、行ツテ居ラヌノミナラス、殆ド或ル部分ニ對シテハ、止メテ居ル如キ有様ニナツテ居ル、是ハドウ云フ譯デアるか、從テ此政府ガ定テアル所ノ既定年度——議會ガ協賛ヲ與ヘテアル所ノ年度、其年度内ニ於テ政府ハ必ズ此竣工レ得ベキノ見込ガ立ツテ居ルカドウカ、斯ウ云フコトデアル、諸君モ御承知ノ通鐵道ハ明治二十五年法律第四號鐵道法ニ依リマシテ、政府ハ二十六年度ヨリ著手致シテ居リマシタノガ、二十九年ニ至リマシテ、即チ第九議會ノ場合ニ至リマシテ、政府自ラ此鐵道建設費既定年額額改定及増額ト云フコトニ就イテ、議會ノ協賛ヲ求メタノデゴザイマス、其理由トスル所ハ、既定ノ年度額デアツテハ、甚ダ金モ少ナイ、又年度モ延ビテ居ル、斯様ニ致シテ居テハ、國家ノ不經濟是ヨリ上ノコトハナイ、今日ノ急務ハ——鐵道ハ最モ今日ノ急務デアアルノニ、斯様ニ既定ノ年

度ニ依リ、既定ノ年額ニ依ッテハ、ナカク此工事ハ抄取ラヌニ依ッテ、此既定ノ年度割ヲ變更シ、金ヲ増シ、サウシテ之ヲ速ニ完成シタイト云フコトデ、政府自ラ其案ヲ提出シタルノデアル、ソレガ議會ノ協賛ヲ經マシテ、今日ハ即チ是ガ法律トナッテ居ルノデアル、左様致シテ見マス、政府ハ此年度内ニ於テハ、必ズ此工事ト云フモノヲ竣工シナケレバナラヌ責任ヲ政府ガ持ッテ居ルノデアル、殊ニ此當時ノ豫算委員會ノ筆記ヲ調べテ見マス、政府ガ提出シテ參事所ノ案ニ向ッテ、豫算委員會ニ於キマシテハ、更ニ又一年ヲ減シヤウトシテ、政府ノ同意ヲ求メタルノデアル、其場合ニ其時ノ逓信次官鈴木大亮君ガ、政府委員トナッテ居ラレマシテ、政府ノ提出シタル所ノ案ハ、經濟上及工事ノ上カラ、十分ノ設計ヲ立テ、シタモノデアルカラ、是ニ同意ヲシテ、必ズ其年度内ニデカスト云フコトハ、十分ニ調べタ上デナケレバナラヌカラ、其調査ノ時間ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フコトニナリマシテ、日ヲ一日延バシマシテ、其上ニ鈴木ガ又更ニ答辯ヲ致シテ、折角ノ委員會ノ御希望デゴザイマスカラ、他ノ方ノ年度ヲ延バシテ、此案ニ對シテハ、十分ニ政府ハ必ズ竣工スルダケノ見込ヲ以テ、之ニ同意ヲ致シマス、云フコトニナッテ居ル、左様致シテ見マス、政府ハ勿論サウ云ハナク、法律ガ既ニ極テ、法律ノ定メタル年度内ニ法律ノ定メタル所ノ金額、是ニ依ッテ政府ハ必ズ是ハ竣工シナケレバナラヌ責任ヲ持ッテ居ル、若シ他ノ事業カラ致シマシテ、金額ニ不足ガ出テ參リマシタナラバ、此時ニハ政府ハ更ニ協賛ヲ求メナケレバナラヌ、免ニモ角ニモ此年度内ト云フ者ニ於テハ、政府ハ是非共之ヲヤリ遂ゲナケレバナラヌト云フ責任ヲ議會ニ對シテ持ッテ居ルモノデアル、然ルニ近來ノ此工事ノ有様ヲ見マス、如何ナル譯デアルカ、國家ノ最大急務ナル交通機關、其中デモ最モ必要ナル鐵道ノ第一期線ノ工事ト云フモノハ、殆ド休止ノ姿ニナッテ居ルモノガ澤山アル、吾々ハ曾テ斯ウ云フ風聞ヲ聞イタルノデアル、唯今ノ大藏大臣ハ、消極方針ヲ採ル、ソレデアルカラ繼續事業ノ既定金額ヲモ、其年額ノ金ヲ減ラシテ、サウシテ事業ヲ縮少スル、斯ウ云フ話ヲ聞イテ居ルケレドモ、吾々ハ之ヲ信ジナカッタ、所ガ當議會ノ豫算委員會ノ筆記ヲ讀ンデ見マス、豈ニ圖ランヤ逓信大臣ガ斯ウ云フコトヲ云フテ居ル、官設既成鐵道改良費參百六拾萬圓ノ中カラ、六拾貳萬五千圓、ソレカラ建設費八百參拾四萬餘圓ノ中カラ、百拾貳萬圓バカリト云フモノハ、減シテ居リマス、斯ウ云フコトヲ云ッテ居ル、是ハ吾々ハ甚ダ了解ニ苦シム、此年度割ト云フモノハ、議會ノ協賛ヲ經テ極々所ノ年度割デアリマス、若シ之ヲ直サウト云フナラバ、政府ハ議會ニ向ッテ更ニ協賛ヲ經ナケレバ、之ヲ減ズルコトモ加ヘルコトモ出來ルモノデナイ、ソレヲ政府自身ガ勝手ニ直スト云フコトハ、萬アルベカラザルコトデアル、論ヨリ證據、先キニ既定

年度割ヲ變更スルトキニハ、第九議會ニ於テ、政府ハ議會ノ協賛ヲ求メテ、議會ノ協賛ガアッテ始テ、此變更ヲ爲シタルノデアル、之ニ依ッテ見マシテモ、議會ノ協賛ヲ與ヘタル所ノ既定年額ニ向ッテハ、政府ハ勝手ニ之ヲ増減變更スルコトノ出來ヌト云フコトハ、極々テ居ル事柄デアル、然ルニ逓信大臣ノ豫算委員會ニ於ケル答辯ヲ見マス、甚ダ此點ハ疑ハザルヲ得ナイ、サリナガラマサカコシナ途方モナイコトハ、スル管ハナイカラ、吾々ハ是ハ必ズ何カノ間違デアラウカト考ヘル、逓信大臣ハ何カ戸迷ヒヨシテ居ルダラウト考ヘル、ソレハ冤ニ角別問題デゴザイマシテ、此第一線期ニ向ッテ、斯ノ如キ緩慢ナルヤリ方デアレバ既ニ定ッテ居ル既定年度内ニ於テ、必ズ竣工スルコト云フコトハ、吾々ハ甚ダ懸念ニ堪ヘナイノデアル、鐵道事業ノ如キハ、一日ヲ緩ウスレバ、國家ガ宏大ナ損害ヲ致スノデアル、ソレデアルカラ法律ガ極々テ居ル、政府ガ責任ガアルカラト云ウテ、吾々ハ安心シテ居ルコトハ出來ナイニ依ッテ、本員等ハ茲ニ此質問書ヲ提出シタ次第デゴザイマス、附加ヘテ茲ニ述ベテ置キタイノハ、此政府ノ答辯ニ依リマシテハ、吾々ハ更ニ又意ヲ決シタイコトガアルノデアリマス、一向雜作モ何ニモナイ事柄デアアルカラ、政府ニ於キマシテモ一日モ早ク是ニ向ッテ答辯ヲ與ヘラレコトヲ望ムノデアル

○副議長(元田肇君) 恆松隆慶君

(恆松隆慶君演壇ニ登ル)

○恆松隆慶君(百九番) 私ハ政府ニ向ッテ質問書ヲ提出致シマシタ、其理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、私ノ質問ハ外交問題トカ、財政問題等ノ如キ、大問題ニテハナイノデアル、唯一局部ニ係ッタコトデゴザイマス、即チ山陰道地方ニ關スル諸問題ニ對シタコトデアリマス、此山陰道中鳥取縣、殊ニ島根縣邊デアリマス、交通不便諸般ノコトニ後レヲ取ッテ居ルノデアリマス、國ハ元ト古ク開ケタモノデアリマス、今日ハ鐵道開ケズ、港灣改築全カラズ、爲ニ交通機關ガ備ラナイガタメニ、昔ノ出羽奥州ト云フヤウナ有様ヨリハ、尙ホ今日ハ後レヲ取ッテ居ルノデアリマス、山陰道ノ後レヲ取ッテ居ル、人ニ致シマシテモ、國ニ對スル所ノ義務トカ負擔トカ云フモノハ、同一ノ務ヲ致シテ居リマス、國家トシテ爲スベキ仕事、起スベキ仕事ト云フモノハ、後レヲ取ッテ居リマス、故ニ、ドウモ均一ガ取レナイノデアリマス、ソレ等ノ事柄ヲ舉ゲテ質問ヲ致スノデゴザイマス、暫クノ間時間ヲ煩スノデゴザイマス、私ガ質問スルノハ、都合ハッゴザイマスガ、第一ハ鐵道ニ付イテノコトデゴザイマス、彼ノ山陰縱貫線中、播州姫路ヨリ鳥取ヲ經テ米子境ニ達スル間ハ、明治二十三年度ヨリ官設ノ計畫デアリマス、其米子ヨリ松江ヲ經テ濱田ニ達シ、即チ山口縣下ニ於テ山陽

線ニ接續スル所ノ線、及廣島縣下廣島ヨリ島根縣濱田ニ至ル廣濱鐵道ノ如キハ、鐵道布設法案中第一期線ノ後ニ屬シテ居リマスガ、是等ハ國家經濟ノ許ス限、官設ヲ以テ急施ニナルベキコトヲ望ムデ居ルノデアリマス、山陰道ト山陽道ノ境ハ、一體ノ山脈ヲ負ヒマシテ居ル處、山嶽重疊致シテ、河川其半バニ横ツテ、到底幾ラシマシタトテ、私設ヲ以テ其竣工ヲ期スルト云フコトハ、誠ニ以テ難イデアアル、既ニ此事ハ明瞭ナ話デアアルデアリマス、殊ニ廣濱鐵道ノ如キハ、一大山脈ヲ貫カケレバナラヌデアアル、僅三十里餘リノ所デゴザイマスルガ、其工事ハ一層困難デアリマスルカラシテ、斯ノ如キ山陰道ノ形勢デゴザイマスル、又今日ハ昔日トハ大イニ形勢ヲ一變致シマシテ、既ニ海外貿易港トシテハ、境港ナリ濱田港ナリモ開ケテ居リマス、又聯隊區ト云フモノガ置カレテ居リマスルデアリマス、殊ニ彼ノ西伯利鐵道ノ如キ、完成致シマシタ上ニハ、山陰道ノ如キハ、形勢直チニ一變スルデアラウト考ヘマス鐵道ノ如キハ、最モ商業上ヨリ見マスルモ、軍事上ヨリ見マスルモ、一日モ卒忽ニナラナイコト、思ヒマス、政府ニ於キマシテハ此國家經濟ノ許ス限リ、此急施ノコトヲ促スノデゴザイマスガ、此山陰道ニ向ッテノ鐵道ノ方針ハ、今後如何ナル方針ヲ取ッテ居ルカ、其事ヲ承リタイ、第二ニハ港灣ノコトデアリマスルガ、港灣ハ無論鐵道航路ヲ連鎖スル所ノ一物デアリマシテ、港灣ガ不完全デアリマスル日ニハ、航路、鐵道共ニ其用ヲ成サナイト考ヘマス、然ルニ我山陰道中ニハ、一ノ完全ナル港灣ト云フモノモ未ダナイノデアアル、尤モ伯州ノ境、石見ノ濱田ト云フモノハ、山陰道中有名ナル是ハ港灣デアリマス、既ニ特別輸出港トモナッテ居ルノデゴザイマス、其他港灣モ多クアルノデゴザイマスガ、凡テ其港灣ハ未ダ調査ナドガ全カラヌガタメニ、大イナル船舶ト云フモノハ、遠ク沖合ニ碇泊致シテ、其港灣ニ這入ルコトガ甚ダ難イノデゴザイマスル、此山陰道中有有名ナル所ノ境港ナリ濱田港ナリ其他ニ港灣ガ多クアルデアリマスガ、到底現在ノ儘デ、不完全デハ商業上其他實ニ頼ムニ足ラヌデアリマス、是等ノ事ニ就イテハ、山陰道地方ノ港灣調査ト云フヤウナ事柄ハ、政府ニ於テハ今後如何ナル手續ヲ爲スヤ否ト云フコトヲ承リタイ、又第三ニハ、隱岐ノ國ノ航海ノコトデアリマスガ、是ハ島根縣會ハ該航路ニ對シテハ、既ニ縣會ノ決議ヲ以テ汽船ノ買入ナリ、又造船費用ト云フモノヲ一時與ヘタコトデアリマスルケレドモ、何分是デ未ダ完全ト云フ譯ニハイキマセヌ、諸般ノ發達ト共ニ、此航海事業ト云フモノニ伴フテ擴張シナケレバナラヌデアリマス、是非國庫ノ補助ヲ仰ガナケレバナラヌ、是等ハ如何政府ニ於テハ考ヲ持ッテ居ルカ、既ニ私ノ取調ベマシタ所ニ依ッテ見ルニ、沖繩縣ノ離島及小笠原島大島ノ航海ニハ、既ニ國庫ノ補助ガアルヤウニ思フノデゴザイマス、無論隱岐航海ニモ與ヘルダケノ價值ガナイト

致シタナラバ、島根縣下ノ隱岐航海ニ對シマシテハ、政府ノ意向ハドウデアアルカ、此航海ニ就テハ既ニ汽船會社ヨリモ補助ノ請求モナシテ居リ、請願モナシテ居ル有様デアリマスカラ、是等ノコトヲ十分調査シテ其結果デハ、追加豫算デモ當議會ヘ出シテ貰ヒタイト思フデアリマスガ、併シ此議會ニ到底追加豫算ヲ出スト云フ場合ニ至リマセヌナラバ、此後ノ議會マデ十分ニ是等ノ調査ヲシテ其運ビニナランコトヲ望ミマスガ、是等ニ就イテハ、如何政府ニ於テハ調査ヲセラルヤ否ト云フコトヲ承リタイ、第四ニハ、此燈臺ノコトデアリマスル、我山陰道中ニ於キマシテハ、海波ガ常ニ荒ク致シマシテ、殊ニ暗礁ナドモ多クゴザイマシテ、年々商船其他ノ破損ガ多イノデ、困難スルコトガ多イノデゴザイマス、既ニ島根縣下ノ地藏鼻及濱田ノ馬島ノ燈臺ト云フモノヲ建設セラレテ居リマスルガ、其燈臺ノ間ニ距離ハ凡ソ四五十里モアルト云フ位デアリマス、此近傍ノ模様ヲ聞キマスルト、凡ソ六七里間ヨリ其燈臺ハ用ヲ辨セスト云フ有様デアリマス、此島根縣下鳥取縣下ニ於キマシテハ未ダ燈臺ノ十分不足ナコトガアリマスルガ、其中最モ急施ノ必要ガアリマスルノハ、出雲國日御碕、隱岐國デハ黑島大波加島ノ如キ、孰モ燈臺建設ノ急ヲ最モ要スルモノト信シマス、是等ニ對シテハ、政府ハ既ニ調査モ成ッテ居ルコトデアリマス、今度如何ナル手續ヲ爲スカ否ト云フコトヲ尋ネルノデゴザイマス、第五ニハ、電信郵便ノコトデアリマスガ、山陰道ハ一般ニ電信郵便局ガ僅少デアアルノデゴザイマス、既ニ質問書ニモ電信局ノコトハ少シ箇所モ掲ゲテ置キマシタガ、免ニ此増設ヲシタイ場所ガ多クアルノデゴザイマス、一例ヲ舉ゲレバ、島根縣下ノ邑智郡アタリノ有様ヲ申レマシタナラバ、其郵便局ナリ電信局ガ少キガタメニ、又迂回スルガタメニ郡役所ノ公翰デモ三日モ經ネバ町村ヘ達シナイカラシテ、地方ノ新聞ヲ四日五日モ掛カラナケレバ見ラレナイ、却テ中央ノ新聞ガ先キニ見ラレルト云フ有様デアアルノデゴザイマス、斯ノ如キ不便ガアリマスル、又一電信ヲ掛ケルニモ、五里十里ノ地方ヘ參ラナケレバナラヌト云フ有様デアリマス、ドウシテモ斯ウ云フ不便ナル有様ニ就キマシテハ、最モ電信局ナリ郵便局ノ増設ガ必要デアリマス、此事ハ是非一郡ニ一二箇所位ノ電信郵便局ヲ増設シナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、又邑智郡アタリニ於キマシモ、現ニ祖式トカ或ハ谷住鄉村川越村又布施村、其他ドウシテモ三四箇所位置カナケレバ、郵便ノ便利ヲ得ルト云フコトニイカナイノデゴザイマス、其他各郡ノ實況ヲ一述ベマシタナラバ、時間モ掛リマスカラ、是ハ略シテ置クデアリマス、第六ニハ、登記所ノコトデアリマス、是ハ山陰道ニハ登記所ガ至テ少ナイノデ、人民ハ常ニ不便ヲ感シテ居ルノデゴザイマス、是ハ今日ニ始メタコトデアリマセヌガ、況ヤ民法ノ改正ノ曉ニハ、其用務ノ繁キト共ニ、益人

第一 香川縣下郡廢置法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長ノ報告)

(川真田市太郎君演壇ニ登ル)

民ガ不便ヲ感ズルコトガ多イデアラウト思ヒマス、勢モ増設ノアラシコトヲ信ズルノデアリマスルガ、政府ハ如何ナル方針デアルカ、一郡ニ是非トモ一二箇所モ増設ヲシナケレバナラス、是モ一例ヲ舉ゲレバ、石見國デ遷摩郡五十猛村ノ如キ、或ハ邑智郡ノ淡原市木地方ノ如キ、不便ナ地方ニハ是非急ニ置カケレバナラヌ有様デアリマスルガ、是等ノ取調ハ如何セラレルカ、第七ハ、種場所ノコトデゴザイマスガ、是ハ種馬牧場及種馬所官制中ニ種馬牧馬ハ、二箇所以内種馬所ガ十六箇所以内ト云フコトガアルヤウニ思ヒマスルガ、此種馬牧場ハ九州竝ニ奥羽ニ設ケラレテ居ル、又種馬所ハ熊本、宮城、巖手、秋田ノ地方ニ既ニ設ケテアルノデアリマスガ、山陰道ノ地方ハ如何デアルカ、決シテ其適當ノ地ガナイト云フノデハナイ、鳥取縣下ニ於キマシテハ、退休寺或ハ倉吉地方、鳥取縣下ニ於キマシテハ、仁多ノ八川、石見ノ三瓶山麓地方ハ、從前ヨリ牛馬ノ產地デアリマシテ、最モ適當ナ地ト認メル所ガアルノデゴザイマス、依テ是等ニ對シテ早晚實施セラレル譯デアルトハ信ジマス、如何ナル方針デアルカ、政府ノ意嚮ヲ聞キタイ、第八ハ、鳥根縣ノ知事交迭ノコトデアリマス、鳥根縣ノ知事ノ交迭ノ忙ハシキコト、實ニドウモ驚クベキ程デアリマス、私ノ調査スル所ニ依ッテ見マスルト、明治五年縣制トナッテカラ、以來凡ソ知事ガ十二人程更ッテ居リマス、年數ヲ平均スルト、二箇年毎ニ交迭ガアル、斯ノ如ク知事ガ縣下ノ事情ニ通ズルヤ否交迭ガアル、諸般ノ經營ヲ爲サントスルト、忽チ交迭ガアルト云フ有様デアリマス、又知事ガ交迭ヲ致シマスルト云フト、從テ書記官或ハ警部長參事官ト云フモノ、其他屬僚ニ至ルマデ異動ヲ生ズルコトハ勢免レナイ、是等ハ鳥根縣下ノ如キハ、最モ山陰道中後レヲ取ッテ居ルコト、思ヒマスガ、諸般ノ後レヲ取ッテ居ル縣ニ於テ、是ガ最大ノ不利益ト考ヘマス、偶タマニハ交迭ガアッテ、喜ブベキコトモアリマスルガ、タマニハ又欽慕ニ堪ヘナイト云フ人ガ更ッテ困ルト云フ場合モアリマス、政府ハ——伊藤内閣ニ於テハ、此鳥根縣知事交迭等ノ事ニ就イハ、如何ナル注意ヲシテ居ラレルカト云フコトヲ尋ネル、私ノ質問ハ斯ウ云フ有様デゴザイマス、以上述べタル如ク、山陰道ノ誠ニ憫ムベキ所悲ムベキ有様ヲ諸君ニ告ゲテ、政府ニ質問スル所以デゴザイマス、斯ノ如ク後レヲ取ッテ居ル、山陰道ハ前途ドウデアアルカト云ヘバ、有望多事ノ所デアリマスカラシテ、ドウカ交通運輸機關等ノ便ヲ開カレテ、サウシテ之ヲ完備セシムルコトガ、當然デアラウト思ヒマスルガ、政府ハ是ニ對シテ、其方針計畫ハ如何デアルカ、一々詳細ノ御答辯アラシコトヲ望ムノデアリマス

○副議長(元田肇君) 是ヨリ議事日程第一香川縣下郡廢置法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長川真田市太郎君

第一

香川縣下郡廢置法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長ノ報告)

(川真田市太郎君演壇ニ登ル)

○川真田市太郎君(百三番) 香川縣ノ廢置法律案ノ委員ノ結果ヲ御報告致シマス、此法律ニ對シマシテ、去日來委員會ヲ開キマシテゴザイマスガ、本案ニ對シマシテハ、別ニ異議ガゴザイマセヌケレドモ、聊カ逐條ニ修正ヲシマシタ位ナコトデゴザイマス、其修正ヲシマシタ趣意ハ、此原案第四節目ニゴザイマス「香川縣讀岐國那珂郡及多度郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク」斯ウナッテ居リマスガ、此仲多度郡ト云フノガ、エライ讀苦シイト云フ議論ガゴザイマスカラシテ、之ヲ將來ニ於キマシテ、讀易ウシタイト云フ動議ガ出マシタニ附キマシテ、是ヲ一字ノ修正ヲ加ヘマシタ、其修正ヲ加ヘマシタニ就キマシテ、之ヲ「十市郡」トシマスルノデアリマシタガ、十市郡トシマスルニ就キマシタ理由ハ、單簡ニ御話仕リマスデゴザイマスガ、元來多度郡ノ全通寺ニ於テ誕生シマシタ弘法大師ガ(笑聲起ル)十市ト云フ大キナ池ヲ築キマシタ、サウデ其池ヲ築キマシタ池ノ水ヲ用ヒマシテ、多度郡或ハ郡珂郡兩郡ヲ大キニ養ヒマシテ、農家ノ便利ヲ圖リマシタニ就キマシテ、此十市ト云フ名ニシマスハ、至テ郡治上宜シイト云フ論者ガゴザイマシタノデ、ソレデ「十市郡」ト改メマシタノデス、其方ノコトデゴザイマシテ、別ニ本案ニ異議ハゴザイマセヌコトデ、當時此事ヲ聞キマスノニ、毎度議場ニ出マシタコトデゴザイマスケレドモ、不幸ニシテ通過シマセヌデシタト云フコトデ、最早郡制モ切迫シテ居リマスヤウニ聞キマスケン、當議會ニ於テ通過致シマスコトヲ私共希望致シマス、一言以テ御報告致シマス

○恆松隆慶君(百九番) 反對ノ演說ノ申込ガアリマス

○副議長(元田肇君) マダ何モアリマセヌ

○林喬君(二百二十六番) 本員ハ修正ノ意見ヲ持ッテ居リマスガ是カラ述べテ宜シウゴザイマス

○副議長(元田肇君) 御待チ下サイ、別段御異議ガゴザイマセヌケレバ、二讀會ヲ開クヤ否ノ議ニ移リマス

○堀家虎造君(二百二十二番) 私ハ簡單ニ委員長ノ御報告ヲ贊成スルノデゴザイマス

○副議長(元田肇君) チョット御注意シマスガ、ソレナラバ二讀會ニ移ッタトキニ出來マス

○堀家虎造君(二百二十二番) 其前ニ述べタイ

○副議長(元田肇君) 修正ノ意見デハゴザイマセヌカ

○堀家虎造君(二百二十二番) 修正ノ意見デハゴザイマセヌ

○副議長(元田肇君) 併シ原案ノ修正ニナルカラ、二讀會ニ於テ……

○堀家虎造君(二百二十二番) 委員長ノ修正ヲ讀會ヲ省略シテ確定シタイト云フ考デス

○副議長(元田肇君) マダソレハ賛成モ何モナイノデス

(「直チニ二讀會ヲ開クコトヲ希望ス」ト呼フ者アリ)

○副議長(元田肇君) ソレデハ二讀會ヲ開クヤ否ノ決ヲ採リマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(元田肇君) ソレデハ二讀會ヲ開クコトニナリマシタ

○林喬君(二百二十六番) ソレデハ修正ヲ……

○恆松隆慶君(百九番) 直チニ二讀會ヲ開イテ議セラレンコトヲ望ミマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○副議長(元田肇君) 決ヲ採リマス、直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(元田肇君) ソレデハ直チニ二讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省キマス

香川縣下郡廢置法律案

第二讀會

○林喬君(二百二十六番) 本員ハ此場合ニ修正說ヲ出シマス

○副議長(元田肇君) コチラニ御出デニナッテ御演說ナサイ、念ノタメニ申シマスガ、此議案全部ヲ議題ニ致シマスカラ、其御賛デ……

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(「林喬君演壇ニ登ル」)

○林喬君(二百二十六番) 本員ハ此香川縣下郡廢置法律案ニ就キマシテ、一ノ修正說ヲ出サウト思ヒマス、此事ハ豫テ滿堂ノ諸君モ御承知ノ通、第一期讀會カラ第九讀會マデ始終出テ居リマス問題デゴザイマシテ、サウクドク申シマセイデモ分ルコトデゴザイマスガ、地方ノ事情ハ地方ノ者ガ能ク知ッテ居リマスタメニ、一言以テ諸君ノ御明斷ヲ煩ハサウト思ヒマス、ソコデ本員ガ修正致シマスノハ、香川縣讀岐國大内郡及塞川郡ヲ廢シテ、其區域ヲ以テ大川郡ヲ置クト云フノヲ、香川縣讀岐國大内郡塞川郡及三木郡ヲ廢シ、其區域ヲ以テ大木川郡ヲ置クト、斯ウ致スノデス、其次ノ第二項ニ香川縣三木郡及山田郡ヲ廢シ、其區域ヲ以テ木田郡ヲ置クト云フノヲ、之ヲ香川縣讀岐國山田郡及香川郡ヲ廢シ、其區域ヲ以テ香山郡ヲ置クト斯ウ云フノデアリマス、其他ハ特別委員ノ修正ニナリマシタ通デアリマス、ソコデ本員ガ修正致シマスノハ、此理由書ニモ書イテゴザイマスガ、大内郡ト三木郡トノ此間ノ向フニ指シテ、香川郡ガアル、ソレカラ阿野、鵜足郡ニ那珂、多度、三野、豐田

郡ト斯ウ云フ釣合ニナッテ居リマスガ、東ノ三郡ト西ノ三郡トガ甚ダ平均ヲ失シテ居ルノデゴザイマス、西ノ此三郡ト申シマスルモノハ、人口モ太ウゴザイマスルシ、面積モ廣クゴザイマス、又國稅地方稅町村稅アタリカラ見マシテモ、大變東トハ釣合ガ取レテ居ナイノデ、ソコデ本員ガ修正ヲ致シマシタヤウナ都合ニナリマスレバ、彼此釣合上カラ見マシテモ、極ク釣合ガ宜シイノデゴザイマス、デ斯ウ云フ釣合ヲ取リマスル上ニ於キマシテ、參考書ガゴザイマスルノデ、本員モ亦之ニ依ッテ拵ヘマシタデス、デ、只今本員ノ修正スルガ如ク、大木川郡ハ町村數モ三十ト云フ數ニナルノデス、人口モ十二万幾ラト云フコトニナル、戸數モ二万千幾ラト云フコトニナル、デ、國稅アタリモ地方稅モ町村費モ凡テ西ノ方ト比ベマシテ、平均ヲ得ルト云フヤウナ都合ニナリマスモノデゴザイマスカラ、ドウカサウ云フヤウナ都合ニ修正ヲ致シタイト思フノデ、ソレデ此事ハ第一期ノ場合ニ只今本員ガ申シマスル通、政府案ガ出タノデアアル、然ルニソレカラ後ニナリマシテ、第二讀會カラ政府ハ今日出シテ居マスルト同様ナ法案ヲ出シ來ッテアルノデゴザイマスルガ、是ニハ段々其地方ニアッテハ、餘程利害休戚ニ關係ヲスルト云フノデ、香川郡ナリ、山田郡、三木郡、大内、塞川ト云フ方面ニゴザイマシテハ餘程ヤカマシウ騒イデ居マスル問題デゴザイマスルカラ、ドウカ本員ガ思ヒマスルニハ、慮心平氣釣合モ取リ敢テ差支ナイ限ト云フコトハ、サウ云フヤウナ都合ニシタイト思フデスカラ、ドウカ此分ハ第九讀會ノ場合ニモ、此衆議院ニハ大多數デ、只今申シマシタヤウナ都合ニ修正ニナッテアリマスノデゴザイマスカラ、ドウカ滿場ノ諸君モ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○高橋松齋君(二百四十七番) 私ハ委員說ヲ贊成ヲ致シマス、本員モ議長ノ指名ニ依リマシテ此議案ニ就キマシテハ、調査ヲ致シマシタ一人デゴザイマス、左様致シテ本員ハ該地方ニ就キマシテ、實地ニ往年巡迴等ヲ致シマシテ、調査ヲ致シテ居ルコトモアリマスノデゴザイマス、此問題ハ既ニ第一讀會以來讀場ニ現レテ居リマスルコトデゴザイマスカラ、滿場ノ諸君モ大體御承知デアラウト存ジマスルガ、木田郡ハ二郡ニシテ固ト大體即チ木田、塞川、三木郡ヨリ割ルノデアアルガ、是レ舊ノ藩制ノ時分舊高松藩主創立以來、二百餘年木田郡即チ三木山田デ居ッタノヲ維新後三木山田郡ト云フノデ、同一ノ治下ノ支配ヲ受ケテ居ッタ、ソレハ維新以後モ依然三木山田郡トシテ支配シツツアッテ、明治十四年マデ繼續致シテ居ッタ、其時分ニ愛媛縣ノ管轄デゴザイマシタ、愛媛縣ト香川縣トハ、詰リ國ガ讀岐ト伊豫ト云フノデ違ヒマスルノデ、實地ノ如何ヲ問ハズ、茲ニ郡ヲ廢合スルト云フコトニ就キマシテ、山田、

香川、大内、寒川、三木郡ト云フノヲ一ツ置イテ山田香川ト云フニナリマシ
タ、此香川ト云フハドウアルカト申シマシタラ、元ト此東香川西香川ト云
フ兩郡デアッタノデ、併テ一ノ郡ニ致シタ、ウレデゴザイマスルカラ、今該地
方ニ於テハ、葛藤ガ止マヌノデゴザイマス、其現レルコトニ於テハ、種々
違ヒマスルケレドモ、原因ハ何デアアルカト言ヘバ、詰リ思想ノ合ハヌ意思ノ
合ハヌ人間ガ寄ッテ居ルト云フコトガ原因デ、或ハ知事排斥デアルトカ何
カ云フテ、種々ナル葛藤ハ彼ノ地方ニ間アルノデ、其地方ヲ預ッテ居ル縣
知事カラ、精々其事ニ就テハ心配ヲ致シテ居ルガ故ニ、毎回政府ニ迫ッテ
此議案ヲ提出スルコトニナルノデゴザイマス、ウレデアノ地方ヘ到ッテ見ル
ト、一番大内、寒川、三木郡、山田、香川地方ガ衰ヘテ居ル、高松市ノ如キ
ハ、市街地デゴザイマスカラ、別物ト致シテ郡ノ上カラ三郡ノ實況ヲ見マス
ルト、外ノ地方トハ大變違ッテ居ッテ、凡テノ事ガ發達シテ居ラヌ、發達ヲ
シテ居ラヌノミナラズ、彼ノ教育會トカ、衛生會トカ、凡テ民間ニ成立ツ會
合ガ、矢張三木郡ト山田郡トハ合同致シマスルケレドモ、同郡役所ノ治下
ニ支配ヲ受ケテ居ルニモ拘ラズ、此三郡ガ合同シテ、事ヲヤルコトガ出來ナ
イノデゴザイマス、夫等ノ事ハ枚舉ニ違アラヌコトデアリマスル、ウレカラ
人口ノ上カラ申シマシテモ、亦戶數ノ上カラ申シマシテモ、此案ノ通ニナ
レバ、決シテ差支ナイ、又全國外ノ郡ニ比ベテモ中等以上ニ居ル人口戶數ガ
アリマス、サウ致シテ香川郡一郡ヲ除ケタラ、ドウカト云フト、高松市ヲ除
イテ此香川郡ガ五万有餘ノ人口、戶數二万餘モアル、是モ外ノ郡ニ比シテ、
半以上ニ居ル故ニ、地勢ノ上カラ事業ノ發達ト葛藤ヲ防禦致スコト、民情ニ
適ッテ居ルト云フ上カラ、土地柄ノ點カラ論シテモ、適當ニ修正ト思ヒマス
カラ、原案ヲ贊成ヲ致シマス

(採決々々ト呼フ者アリ)

○山本隆太郎君(百二十三番) 私モ矢張委員長ノ御報告ノ通贊成致シマス、
唯今二百二十六番カラ修正ガゴザリマシタガ、一向御贊成ガゴザリマセヌカ
ラ、是ニハ別ニ駁論ハ致シマセヌ、此原案ヲ提起サレマスマデニハ、地方ノ
輿論ハ此原案ノ如クニナッテ居リマス、或ル一部ニ當ッテ、種々ノ事情ノタメ
ニ、反對ノ意見モアリマスガ、詰リ縣下ノ輿論ハ原案ノ如キノガ多數ヲ占メ
テ居ル、木内書記官ガ態々實地取調ニ來タ結果、斯ウ云フ原案ヲ拵ヘタ、ソ
レデ貴族院アタリモ前ニ此原案ノ通ニナッタノデゴザイマスカラ、全部委員
長ノ御報告ノ通ノコトヲ贊成ヲ致シマス、尙ホ此郡名ヲ更ヘマシタコトニ就
イテハ先刻委員長カラノ御報告モゴザイマシタガ、詰リ右ノ名稱ヲ附シマス
ルノガ、最モ適當デアラウト思ヒマスカラ、之ヲ贊成致シマス

○副議長(元田肇君) 決ヲ採リマス、唯今ノ二百二十六番ノ動議ニハ、贊成ガ
ゴザイマセヌカラ、消滅致シマス、委員會ノ報告ニ就イテ決ヲ採リマス、委
員會ノ報告ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○副議長(元田肇君) 多數、委員會ノ報告通決シマス

○堀家虎造君(二百二十一番) 確定ニ願ヒマス

○副議長(元田肇君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ、確定ノ決ヲ採ラウト云フコ
トデゴザイマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

香川縣下郡廢置法律案 第三讀會

○副議長(元田肇君) ウレデア直チニ三讀會ヲ開キマス、本案贊成ノ御方ハ、
起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○副議長(元田肇君) 多數ト認メマス、本案ハ確定致シマシタ、次ニ議事日
程ノ第二ニ移リマス、廣島縣郡廢置法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、和田彦
次郎君

第二 廣島縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(和田彦次郎君演壇ニ登ル)

○和田彦次郎君(二十番) 諸君、本員ハ廣島縣下郡廢置法律案ノ委員會ノ經
過ト結果ヲ御報告申シマス、本月ノ二十四日午前十時三十分ニ委員ハ集リマ
シテ、委員長及理事ノ互選ヲ致シマシテゴザイマス、次デ直チニ本案ノ委員
會ヲ開キマシタ、本案ノ郡ノ廢置ニ至リマシテハ、大體ニ就イテハ異議ナシ
ト可決致シマシタ、唯名稱ニ至ッテ、已ニ諸君ノ御手許ニ報告書ヲ印刷致シ
テ配付ニナッテ居リマスル通修正ヲ致シマシテゴザイマス、其理由ヲ簡單ニ
述べマスル、第三項ニ當ッテ居リマスル「廣島縣備後國三次郡及三谿郡ヲ廢
シ其ノ區域ヲ以テ三次郡ヲ置ク」トゴザイマスルノヲ「雙三郡」ト書キマシテ
ニミ郡ヲ置クト云フコトニ、佐々木高榮君即チ委員ノ一人ヨリ修正說ガ出
マシテ、委員會全會一致致シテ可決致シマシテゴザイマス、又第五項ニゴザイ
マスル「沼田郡及高宮郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ沼高郡ヲ置ク」トゴザイマスル
ノヲ、沼高郡ト云フテハ、甚ダ語路ガ穩デナイニ依ッテ、安佐郡ヲ置クト
云フコトニ改メマシタ、此安佐ト云フコトニ就キマシテハ、古來此兩郡ハ佐
東郡安北郡ト稱シテ居リマシタ履歷ガゴザイマス、ウレニ依ッテ安佐郡ト致
シタイト云フ修正說ガ出マシテ、委員會一同一致致シマシテ可決致シマシテ
ゴザイマス、之ガ經過デゴザイマス、且ツ結果デゴザイマスルカラ御報告申

シマス、尙ホ諸君ニ述ベテ置キマスルノハ、議會モ切迫致シテ居リマスルコトデゴザイマスルカラ、三讀會ヲ省略サレマシテ直チニ御決議下サルコトヲ祈リマス

○恆松隆慶君(百九番) チョット質問致シマス、三次郡ト云フ處ハ隨分有名ナ町名デゴザイマスガ、之ヲ雙三郡トナッタノハ何カ原因ガゴザイマスカ

○和田彦次郎君(二十番) ゴザイマス、此修正案中ニ御覽下サルガ如ク、孰レモ二郡ヲ合シテ一郡ノ新名ヲ附シテ居リマスルノニ、他ノ合シタ分ニハ、皆兩郡ノ名ヲ折衷致シテ附シテ居ル、然ルニ此郡ノ三谿郡ト云フ名ヲマルデ削去ッテ、三次郡ノミ存スルト云フコトハ、甚ダ穩デナイ、又原案ニモゴザイマスル通、是ハ顯著ナル名ガ現在存シテ居ルカラト云フコトデゴザイマスルケレドモ、是ハ郡ノ名ガ顯著ナリト云フコトハ、決シテ言ハレヌノデゴザイマセウ、三次ト云フコトハ、三次町ガ顯著ナノデゴザイマス、例ヘバ尾ノ道ト云フノハ全國ニ知ラレテ居ッテ、尾ノ道ヲ知ラス者ハゴザイマセヌケレドモ、質問爲サル恆松君デモ郡ノ名ハ恐ラク御存ジゴザイマスマイ、斯ノ如キモノデゴザイマス、依ッテ他ノ郡ハ折衷シテアルノニ、獨リ此郡ノミ折衷セヌハ穩デナイト云フ佐々木君ノ御説ガ出マシテ、御高説ニ感服致シマシテ、委員會ハ一致シテ贊成致シマシタ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 別段ニ御議論ガナイヤウデゴザイマスカラ、直チニ決ヲ採リマス

(「異議ナシ異議ナシ」讀會省略)ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 讀會ヲ省略シテ直チニ確定シテ吳レト云フ委員長ノ請求ガゴザイマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

廣島縣下郡廢置法律案

確定議

○副議長(元田肇君) フレデハ確定シタモノト認メマス、次ニ議事日程第三法例修正案第一讀會ノ續ヲ開キマス、大岡有造君

第三 法例修正案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

(大岡有造君演壇ニ登ル)

○大岡有造君(二百八十四番) 法例修正案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、法例修正案ニ就キマレテハ、他ノ法典ト同一ニ委員會ニ付セラレマシテ、去ル二十五日ニ第一回ヲ開キマシテ、同日ハ委員ノ請求ニ依リマシテ副總裁ノ出席ヲ求メマシテ、政府委員モ出席シマレテ、爾來二十六日七日止

引續キマシテ、頗ル綿密ナル質問及討論ヲ重ネマシタ結果、遂ニ此法例修正案ハ本院ニ於テ可決スベキモノト決議ヲ致シマシタ、附ケテ別ニ申シテ置キマスルガ、此法例修正案中民法ノ第七百七十七條ヲ引用シテアル所ガゴザイマスルガ、民法ノ修正案ハ唯今審査中デゴザイマシテ、其審査ガ終了致シマセヌ、其審査中或ハ其箇條ヲ動スコトガアルカモ知レヌ、若シモソレガ動イタナラバ、法例修正案中ニ民法ノ七百七十七條ヲ指シテ居リマスル此箇條ハ、當然動クコトガアルデゴザイマセウト云フコトヲ併テ御報告申シマス、其決議ヲ受ケテ置ク筈ニ極リマシテゴザイマス、右報告ニ及ビマス

○小室重弘君(百八十八番) 此案ニ對シテ贊成ノ意見ヲ表シテモ宜シウゴザイマスカ、今ノ場合

○副議長(元田肇君) 贊成ノ御意見デスカ

○小室重弘君(百八十八番) ハイ

○副議長(元田肇君) 御請求ニナレバデゴザイマスガ、マア御ヤリナサルナラバ、御ヤリナスッテモ宜ウゴザイマス

○小室重弘君(百八十八番) 私ハ今ノ委員長ノ報告ノ通、通過スルコトヲ望ムデス、何ゼナラ此法例ノ修正ト云フモノハ、修正案ハ前カラ皆二十五年以來人々ノ知ッテ居ル所デモアリ、又鄭重ニ審査爲サレタト云フコトハ報告ノ通デゴザイマス、吾々ハ法典調査會ノ專門ノ諸君ニ信任ヲ措イテ、サウシテ直チニ決定スルコトヲ希望致シマス

○副議長(元田肇君) 直チニト云フノハドウ云フ意味デゴザイマス、讀會モ何モ省略スルト云フ意味デゴザイマスカ

○小室重弘君(百八十八番) サウデハアリマセヌ

○副議長(元田肇君) フレデハ決ヲ採リマス、本案ニ就イテ二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者多シ)

起立者 無

○副議長(元田肇君) 御起立ハナイケレドモ、滿場一致ト認メマス

(「直チニ二讀會ヲ開クベシ」ト呼フ者アリ)贊成々々ト呼フ者多シ

○副議長(元田肇君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○副議長(元田肇君) フレデハ直チニ本案ノ二讀會ヲ開キマス

法例修正案

○副議長(元田肇君) 諸君ニ御諮リ申スコトガアリマス、是ハ法律案デゴザイマスルカラ、一箇條一箇條議題ト致シマセウカ、又ハ二三箇條ヅ、束ネテ

第二讀會

議題ト致シマセウカ

〔全部一括シテヤリ給ヘ〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○副議長(元田肇君) 全部一括シテ議題トスルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○副議長(元田肇君) ソレデハ全部一括シテ議題ニ供シマス、朗讀ヲ省略致シマス

〔確定々々〕「賛成々々」ト呼フ者アリ

○北島傳四郎君(六番) 六番ハ少シ修正ノ意見ヲ提出シマス

○副議長(元田肇君) 北島傳四郎君

〔北島傳四郎君演壇ニ登ル〕

○北島傳四郎君(六番) 私ハ此委員會ノ一人トシテ、此審査ニ關ツタ一人デアリマスデスガ、其當時モ修正ヲ出シテ置キマシタガ、不幸ニシテ少數デ潰レマシタ、ソレニ附イテ又賢明ナル諸君ノ御判斷ヲ得タイト云フ考デ、再ビ茲ニ其説ヲ持出スコトニナリマシタノデアリマス、ソレハ法例ノ一條ノ第二項ニ當ツテ、是デ見マスルト云フト、臺灣及北海道沖繩縣其他ノ土地ニ於テハ、勅令ヲ以テ特別ノ施行時期ヲ定ムルコトヲ得タルノデアリマス、デ、第一條ヲ見マスルト云フト、法律ハ免ニ角、公布ノ日ヨリ二十日ヲ經タ時分ニハ、效力ヲ有スルノデアル、縱令人民ガ知ルト知ラザルニ拘ラズ、二十日過グレバ、法律ノ效力ヲ有スルヲ以テ、例ヘバ刑法デアレバ犯シタモノハ直グ處分スルト云フトノ法律ニナツテ居ル、併ナガラ此法律ヲ見マシテモ、免ニ角知ラシメテ據ラシムルト云フトノ精神カラシテ、二十日位ノ公布カラシテ、二十日位經ツタナラバ、内地ダケハ皆知ルデアラウ、故ニ二十日ト云フ期間ヲ、茲ニ設ケタヤウナ精神デアルヤウニ思ハレル、併ナガラ臺灣ヤ其他沖繩縣其他ノ島地ニ於テハ、二十日ト云フヤウナ窮屈ノ期限デハ困ル、塞中ニナツテハ千島ト云フヤウナ所ハ船ノ通ハヌ處ガアル、又其他ノ島ニ於テモサウ云ウ不便ノ處ガ幾ラモアル、ソコデ是等ニ就イテハ、勅令ヲ以テ特ニ極ムル、二十日トカ二十五日トカ三十日トカ云フ風ニスルト云フ精神デアリマセウ、誠ニサウ云フ風ニヤルト結好ノ規定ニハナルケレドモ、此勅令ヲ以テ定ムルコトヲ得ト云フノデアリマスカラ、單ニ勅令ヲ以テ定ムルト云フトデアツテハ、此内地ニ就イテハ、公布ノ以後二十日以後ニ行フ勅令ヲ以テ一ツノ法律ヲ施カシテ、此法律ハ臺灣及北海道其他ノ島ニ於テハ、其翌日カラ行フト云フ法律ガ出タナラバ、ドウデアルカ、斯ノ如クナラバ、大變ニ不幸ヲ感ズルコトデアラウ、詰リ信用アル今日ノ内閣ハ、決シテサウ云フトハアリマスマイケレドモ、殊ニ——場合ニ依ルト云フト、ドウ云フ性質ノモ

ノニ附ケラレタノデアツタカ知レナイガ、蠻勇内閣ト云フノガアル、サウ云フ内閣ガアツテ、臺灣ノヤウナヤカマシイ所ヘ壯士ガ澤山居ルカラ困ル、是ヲ以テ一ツノ彼ノ豫戒令ト云フモノヲ一ツ拵ヘヤウヂヤナイカ、サウ云フ法律ヲ出シテ、直グ施行スルト云フ勅令ヲ出シタナラバ、ドウデアルカ、此法例一般ノ解釋トシテ不法デアルト云フコトハ、到底出來ナイト思ヒマス、ソコデ私ハ第一條ノ一項ノ精神ヲ此所マデ及シテ、免ニ角内地ヨリハ早ク行フトコトガ出來ヌト云フ制限ヲ明カニシテ置キタイ、法律デアルカラ、ドウデモ宜イヂヤナイカ、サウ云フ風ニ讀メルヂヤナイカト云フトモアリマセウガ法律程曲解スルト種々ノ解釋ガ出來ルカラ、何デモ法律ハ明カニシテ置タ程結構ノコトハナイト思ヒマス、勅令ト云フ下ニ「ヲ以テ」ノ三字ヲ削リ「ニ依リ内地施行ノ期日以後ニ在テハ特別ノ施行期限ヲ定ムルコトヲ得」ト致シマシテ、詰リ内地施行ノ期日以後ニ在ツテハ、勅令ヲ以テドウデモ定ムルコトガ出來ルト云フトコトニシテ置キタイ、詰リ斯ウシテ置イタナレバ、サウ云フ風ニ即時直グ行フト云フヤウナコトガナク、詰リ一般ノ人民ノ迷惑ニナラヌコトデアラウト思ヒマスカラシテ、諸君ノ御賛成ヲ得タイ儘ニ、茲ニ此修正案ヲ出シタノデアリマス

〔蛇足〕又ハ「賛成ハナイ」ト呼フ者アリ

○萩原正夫君(二百九十七番) 本修正案ハ、最早専門家ガ十分精神ヲ籠メマシテ編制シタモノデアリマシテ、又特別委員ガ精密ニ調査ヲ遂ゲテ可決シタモノデアリマス、故ニ此所デ別ニ討論シテ修正ナドヲ持出ス必要ハナイト思ヒマス、故ニ二讀會ノ手續ヲ省キマシテ、此所デ可決ヲ希望致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 別ニ御議論モナイヤウデアリマスガ、前ニ全部ヲ議題トスルト云フト申シテ置キマシタガ、本案ハ法例ト書イデアリマスノミナラズ、此法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ム云々ト云フ所マデ、併テ決ヲ採ルノデアリマス、デ、別段ニ本案ニ就イテ御異議ハナイヤウデアリマスカラ、決ヲ採リマス

〔異議ナシ〕又ハ「讀會省略」ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) ソレデハ、讀會ヲ省略シテ、直チニ確定議ヲ採ツテ宜シウゴザリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

法例修正案
○副議長(元田肇君) ソレデハ本案確定ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○合田福太郎君(七十六番) 今ノ御宣告ハ不明デゴザリマスガ、此法例ハ、

民法ト關係上ノコトヲ書イタシテアリマス、ソレデ今ノヤウナ御宣告デア
ル、ト民法ニ修正ガゴザイマシテ、動キマシタ時分ニ差支マスカラ、委員ノ
彼ノ報告通、條件ヲ附ケテ確定スルノデアアルカ、彼ノ條件ハ省イテ置イテ原
案ノ儘確定スルノデアアルカ、採決ニ附イテハモウ少シ判明ニ御宣告ヲ希望致
シマス

○副議長(元田肇君) 議長ノ考テハ、矢張委員長ノ報告ハ、當然ノ結果ニナル
モノト心得テ居ッタノデ、別ニ宣告致シマセヌアシタ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(元田肇君) 然ラバ本案ハ確定致シマス次ハ議事日程第四明治二十
二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案第一讀會、朗讀ハ省略致シマス

第四 明治三十二年法律第十五號會計検査院法中 第一讀會

改正法律案(工藤行幹君外二名提出)

明治三十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案

第二條乃至第十一條ヲ左ノ如ク改ム

第二條 會計検査院ハ長官一員評定官十二員ヲ置キ別ニ評定官補十四員及
屬若干ヲ置ク

第三條 評定官定員ノ半數ハ帝國議會ノ選出ヲ以テ之ニ充ツ其ノ選出方ハ
貴族院衆議院議員中ヨリ互選ヲ以テ各六名ヲ選出シ内各三名ヲ任命シ殘
員各三名ヲ豫備員トス

第四條 帝國議會ノ選出ヲ以テ任命セラレタル評定官ハ正當ノ理由アルニ
非サレハ辭退スルコトヲ得ス

第五條 帝國議會ノ選出ヲ以テ任命セラレタル評定官ハ各其ノ選出所屬議
員ノ任期ヲ以テ其ノ任期トス但シ滿期ニ至リ再選セララルコトヲ得

第六條 帝國議會ノ選出ヲ以テ任命セラレタル評定官ニ缺員ヲ生シタルト
キハ第三條ニ定ムル其ノ選出所屬ノ豫備員中ヨリ之ヲ任命ス

第七條 帝國議會ノ選出ヲ以テ任命セラレタル評定官ハ在任中帝國議會ノ議
員タル資格分限ヲ失ハタルトキハ直ニ退官トス

第八條 長官評定官ハ勅任トシ評定官補ハ奏任トシ屬ハ判任トス

第九條 長官ハ院務ヲ總理シ評定官ハ部務ヲ掌理ス長官事故アルトキハ上
席ノ評定官ヲシテ代理セシム

第十條 會計検査院ニ二部ヲ設ケ各部ニ部長一員ヲ置キ評定官ヲ以テ之
ニ充テ報告官一員評定官補一員ト共ニ検査ノ事務ヲ分掌ス
各部ニ專屬セサル評定官補ハ臨時委員ノ事務ヲ分掌ス

第十一條 長官及帝國議會ノ選出ニ係ラルサル評定官ハ勅令ニ定メタル資格
ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス

長官評定官ハ刑事裁判若ハ懲戒裁判ニ依ルニアラサレハ其ノ意ニ反シテ
退官、轉官、非職又ハ減俸、免職ヲ命セラルコトナシ

長官評定官ニ關ル懲戒ノ條規ハ別ニ定ムル所ニ依ル長官ハ前項所定ノ外
帝國議會ノ一院ヨリ不信任ヲ議決セラレタルトキハ直ニ退官ヲ命セラル
ヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ明治二十九年法律第九十一號第六條ノ規定ヲ
準用ス

第十一條ノ次ニ左ノ六條ヲ加フ

第十二條 父子兄弟、妻ノ兄弟及姉妹ノ夫ハ同時ニ長官評定官トナルコト
ヲ得ス

第十三條 長官評定官ハ他ノ官職ヲ兼ネ及帝國議會又ハ地方議會ノ議員ト
ナルコトヲ得ス

但シ第三條ニ據リ任命セラレタル者ニシテ其ノ選出所屬ノ議員タルハ此
ノ限ニ在ラス

第十四條 會計検査院ノ議事ハ總會議又ハ聯合部會議ヲ以テ決ス總會議ハ
長官ヲ以テ議長トシ聯合部會議ハ其ノ聯合部中ノ上席部長ヲ以テ議長ト
ス

議事ハ多數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十五條 左ノ場合ニ於テハ總會議ヲ以テ議決ス

一 第二十一條ニ依リ上奏ヲ爲シ又ハ天皇ノ下問ニ奉答スルトキ

二 第二十條ニ依リ報告書ヲ確定スルトキ

三 第二十三條ニ依リ意見ヲ陳述スルトキ

四 検査事務ノ規程計算證明ノ様式及提出ノ期限ヲ定メ又ハ之ヲ改正ス
ルトキ

五 法律勅令ノ新設若ハ改正ニ關シ及其ノ他閣議ヲ要請スルトキ

六 其ノ他長官ニ於テ總會議ニ付スルノ必要アリト認メタルトキ

第十六條 計算検査ノ判決ハ總會議ニ於テス其ノ總會議ニ於テスルト聯
合部會議ニ於テスルトハ長官ノ定ムル所ニ據ル

第十七條 議事ノ結果トシテ第三條ニ據リ選任セラレタル評定官ノ提議ス
ル少數ノ意見ハ其ノ提出者ヨリ之ヲ帝國議會ニ報告スルコトヲ得

第十二條ノ第十八條トナシ以下順次繰下ク

第十六條第三項中「第十三條第三項」トアルヲ「第十九條三號」ト改ム

第十九條第二項中「會計検査院長」ノ下「官」ノ一字ヲ加フ

○工藤行幹君(二百六十八番) 此提出ノ理由ヲ述ベマス

○副議長(元田肇君) 工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○副議長(元田肇君) 工藤行幹君ヨリ議事日程ノ第四第五第六ハ關聯シテ居ル案デアリマスカラ、便宜ノタメ同時ニ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(元田肇君) ツレデハ一緒ニ説明致シマス

○工藤行幹君(二百六十八番) 諸君此會計検査院ノ明治三十年三月二十日カニ検査院ニ於テ不當ノ處分ヲ爲シタイト云フコトハ、諸君ハ既ニ御了知デアリマシテ、此事ハ如何ニモ重大ナコトデ、社會ノ囂々トシテ論議ニ掛タコトデゴザイマス、爾來内閣ノ更迭ナドノタメニ、未ダ此事ノ結果ヲ見ナイガ、既ニ此項貴族院ニ於テハ、此事ニ就イテ更ニ質問ナドヲシテ居ルヤウナ、誠ニ重大ナル事件デゴザイマス、然ルニ此會計検査院ノ吾々ノ思フ通、實ニ此腐敗極メテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデゴザイマス、ケレドモ、彼ノ腐敗ノ原因ヲ尋ネテ見マスルト云フト、蓋シ深キ故アルコト、思フノデアリマス、抑々會計検査院ナル者ハ、吾々日本國民ノ膏血ヲ以テ濫イダ所ノ租税、之ヲ支出ノ際ニ於テハ、吾々帝國議會デ之ヲ議スルデハゴザイマスルガ、此決算ノ場合ニ於テハ、會計検査院デ、慎重ニ審議シナクチャナラヌコトデアアル、斯ク重大ナル職權ヲ持ッテ居ルモノデゴザイマスカラ、萬一之ヲ行政官ノ手ニ以テ進退スルヤウナコトガゴザイマシテハ、其職權ガ輕クナル、從テ純正ナル職權ヲ守ルコトガ出來ナクナリマスカラ、之ヲ 天皇ニ隸屬セシメテ、獨立ノ官ヲ設ケタノデアアル、然ラバ會計検査院ハ神聖ニシテ侵スベカラザル權カヲ持ッテ居ナケレバナラヌノニ、彼ノ三月八日ノ會計検査院ノ事件ト云フモノハ、此院長渡邊某ナル者ガ、此法律ヲ曲解シテ誠ニ專横ナルコトヲシテ居ル、而シテ其事ハドウ云フコトニ係ッテ居ルカト云ヘバ、如何ニモ此吾々ノ若干ノ金ヲ出シテ居ル日清戰爭ノ費用ニ係ッテ居ルコトデアッテ、最モ重大ナル場合デアアル、此重大ナルコトヲ法律ヲ曲解シテ、自分ガ專横ナコトヲシテハ甚ダ怪シカラヌコトデアアル、然レドモ、其事ノ前ニモ申シテ通、今日マデソレナリニナッテ居ル、此腐敗シテ居ルト云フノハ、畢竟スルニ終身官ニシタト云フノガ、此職權ヲ重ズルガタメニシタモノデアリマス、現在ノ狀況ハ却テ此終身官ニシタ、メニ、大ノ弊ガ生シテアルノデゴザイマス、又他ノ行政官カラ干涉ヲ受ケサセヌヤウニシタ、メニ尙更弊ガ生シテアルノデゴザイマス、斯ク言フナラバ、諸君ハ或ハソレナラバ裁判官モ終身官ニシタ弊ガアルカト云フコトヲ御不審ガアルカモ知レナ

イケレドモ裁判官オドハ、誠ニ多數ナ人數デ共ニ吟味スルコトガ出來マス、裁判官ニハ下級上級ノ別ガアリマシテ、下級ハ上級カラ監督スルコトガ出來ルカラシテ、此弊ガナイノデアアルガ、會計検査院ハ、誠ニ少數ノ人デアッテ、而シテ此終身官デ他ノ檢束ヲ受ケナイモノデゴザイマスカラ、若シ正當ナル人ヲ得ルナラ、誠ニ善ク行キマスケレドモ、今ノ會計検査院ノ如キ人ヲ得ルナラバ、誠ニ言フベカラザル腐敗ヲ來スノデゴザイマス、其腐敗ノ結果ハ、諸君モ御存ジノ通、罪ノ無イ者モ罪ヲ附ケテ、罪ザヤナイ、即チトシテモナイ名ヲ附ケテ、終身官ヲ消滅セシメテ仕舞ッタト云フ如キ、不幸ナコトガ起ルノデゴザイマス、故ニ私ハ此腐敗ノ原因ニ遡ッテ、ドウシテモ此會計検査院ノ法律ヲ改正シナクチャナラヌト思ヒマス、然ラバドウ云フ風ニ之ヲ改正スルカト云ヘバ、大體其要ヲ摘テ御話申シテ見マスルト、會計ノ検査官ト云フ部長ト云フ者ガ元トアリマシタノヲ、之ヲ改メテ評定官ト致シマス、而シテ其中半數ダケハ、貴族院カラ三人、衆議院カラ三人、之ヲ各其議院ニ於テ選出シテ、ツレデ此會計検査院ノ評定官ニ致シタイト云フノガ、第一ノ主眼デゴザイマス、而シテ此選出シテ出タ者ハ、此議員ノ任期ガ盡キルト共ニ、是ガナクナルノデゴザイマス、故ニ會計検査院ノ評定官ヲ十二名ト致シマシテ、其中六人ダケハ、始終衆議院カラ出タ者ハ四年毎ニ解散ガナケレバ、衆議院ノ選舉ヲ以テ代ッテ行キマス、貴族院ノ方デゴザイマシタラ、或ハ七年ヲ以テ代ッテ行クト云フコトニスルノデゴザイマス、斯ク新陳代謝シテヤッタラ、此腐敗ノ原素ヲ免レルニ宜カラウト云フ考ヘデス、或ハ斯ク致シタラ、若シ議院ノ解散ノトキニハ、或ハ其人ガ缺ケルニ就イテ差支ガ生ジハシナイカト云フ御懸念ガアルカモ知レマセヌカ、衆議院カラ選マレル所ノ者ハ、十二人中ノ三人デゴザイマス、故ニ四分ノ一デゴザイマスカラ、再選舉マデノ間ハ、四分ノ一缺イテモ、敢テ事務ノ差支ガナイ、故ニ大體評議員ノ半數以上ヲ貴衆兩院カラ選舉シテ之ニ加ヘタイト云フコトヲ一ツ、ツレカラモウ一ツ大ナル事ガ、會計検査院長ノコトニ就イテ、貴衆兩院各段ニ、決算報告ヲ見テ、若シ會計検査院ノ仕方ニ於テ、會計検査院長ノ不信任ノ決議ヲシタトキハ、是ハ會計検査院長ヲ解職シナケレバナラヌ、又 陛下カラ之ヲ免ゼラレテ罷メサセルト云フ條項ヲ一ツ設ケタノデゴザイマス、是ガナイト會計検査院長ナル者ハ、何モ制裁ヲ受ケル所ガナイカラ、如何ナル勝手ナ事ヲシテモ何トモ仕様ガナイ、唯之ヲ 陛下ガ恩召ヲ以テ爲サルノミデゴザイマスガ、陛下ヲシテ斯ノ如キ事ヲ煩シ奉ルト云フコトガ、時々アッテハ忍入ル次第デゴザイマス故ニ之ヲ吟味スル者ガ内閣ニヤラレテハ、内閣ノ情實ニ牽カレコトガゴザイマスカラ、此神聖ナル帝國議會ソレモ兩院通過シテヤルノザヤナイ、或ハ貴族院ニ於テ不信任ノ決議ヲスルコトモアリ、或ハ衆議

院ニ於テ不信任ノ決議ヲスルコトモアル、其時ハ陛下ハ院議ヲ容レサセラレテ、此會計検査院長ヲ罷免スルコト云フ法律ヲ設ケタイノデアリマス、此二箇條ガ最も此修正案ヲ提出スル所ノ重ナル要點デゴザイマス、其他ツレニ附屬シテ各條稍々數箇條元ノモノヲ改正シタモノモアリマスケレドモ、是ハ誠ニ枝葉ニ屬スルコトデゴザイマスカラ、他日委員會カ何カノトキ御話シマスコトニシテ、先ヅ大體ヲ御話シテ置キマス併シ、諸君ノ中ニ或ハ斯ノ如キ貴衆兩院カラ出スト云フコトハ、世間ニモ例ノナイ餘リ突飛ナ改正デヤナイカト云フ御疑ガアルカモ知レマセヌガ、私ノ調べル所デハ、隨分歐羅巴各國ノ中ニモ、斯ノ如キ例ハ往々アルト云フコトデゴザイマスカラ、敢テ我日本デ強テ西洋各國ニ倣ハンバナラヌト云フコトモゴザイマスケレドモ、世間其例ノアルト云フコトダケハ、御參考マデニ御話ヲ申上ゲテ置マス、又之ニ牽聯致シマシタ會計検査官ノ懲戒處分法案ト云フモノヲ同時ニ出シテ置キマシタ、是ハ誠ニ怪シカラヌコトデゴザイマシテ、既ニ先キノ會計検査院ノ法案ノ第六條ノ第三項ニ「會計検査官ニ關ル懲戒ノ條規ハ別ニ定ムル所ニ依ル」ト、法律ニハ規定シテアリナガラ、爾來之ヲ定メナイデ居ルノデゴザイマス、如何ニモ政府ハ緩慢ナコトデアアルト思ヒマス、尤モ第九ノ議會ニ於テ政府カラ一遍提出シタコトガアリマスケレドモ、詰リ是ハ決議ニ至ラヌデ止メテ居ッタノデゴザイマス、此懲戒處分法ノナイタメニ、益々會計検査院ハ腐敗ノ極度ニ陥ッテ行クノデゴザイマス、故ニ私ハ新ニヤッタヤウナモノデハゴザイマスケレドモ、決シテ新ニヤッタモノデハナイ、是非此懲戒處分法案ハナクチャナラス、併ナガラ此行リ方ト云フモノハ、元ト政府カラ出シタ所ト少々趣ヲ異ニシテ、或ハ大審院長判事ヲ以テ此懲戒處分ノ場所ヲ拵ヘルト云フコトノ仕組方が稍々元ノ政府カラ出シタ所ト違ッテ居リマスケレドモ、ツレ等ノコトハ、委員會ニ於テ審議ヲ致シマセウガ、免ニモ角ニモ懲戒處分法案ト云フモノガ無クチャ不具ノモノデアリマスカラ、之ニ附帶シテ出シタ譯デゴザイマス、又其次ニハ、明治二十九年ノ法律第九十一號ノ改正デゴザイマス、此九十一號ノ改正ナルモノハ、ドウ云フモノデアアルカト云ヒマスレバ、會計検査官ノ身分ニ關シテノ法律案デアリマス、然ルニ此法律ノ第一條ハ誠ニ不完全デアアル、此不完全ヲ利器トシテ即チ渡邊會計検査院長ガ正義ナル所ノ検査官ヲ不當ナ名ヲ附ケテ之ヲ退ケタノデゴザイマス、是ハ全ク第一條ノ不備ヲ利器トシテヤッタモノト、私ハ斷言スルヲ憚ラヌノデゴザイマス、其不備トハ何デアアルカト云ヘバ、第一條ニ「會計検査官身分若クハ精神ノ衰弱ニ依リ職務ヲ執ル能ハサルニ至リタルトキハ之ヲ退官ヲ命スルコトヲ得」ト斯ウアルニ附イテ、彼ノ會計検査院中ノ正義ナル人ヲ名ケテ精神衰弱ト云フコトヲ名トシテ退官セシメタノデゴザイマス、然ルニ其實際ニ至ッテ

ハ、精神ノ衰弱シタ者デハナク、或ハ臺灣ノ官吏トナリ或ハ東京市ノ參事員ニナルト云フヤウニ立派ナ人デアアル、自分ノ意ニ從順シナイト言フテ第一條ヲ利器トシテ罷免シタノハ、實ニ國家ノタメニ悲シムベキコトデアアルト思ヒマス、斯ク不當ナ處置ニ至ラシメタト云フノハ、法律ノ不完全デアアル、故ニ私ハ「職務ヲ執ルコト能ハス九十日ヲ踰ヘ尙治癒ノ徵候ヲ見サルニ至リタルトキハ」ト云フ條項ヲ加ヘタイト云フノデゴザイマス、縱令精神衰弱シタ者デモ、一時右様ナ事ガアルカモ知レナイ、サウ云フ事ガアッタトキハ、當リ前カラモ日ヲ猶豫シテ、ドウシテモ再ビ快復スルコトガ出來ヌト云フ場合退官ヲ命ジテコソ正當デアアルニ、彼ノ會計検査院長ハ此規定ノナイノヲ幸ヒトシテ、之ヲ非免シテ仕舞ッタノデゴザイマス、諸君、他ノ例ヲ御覽ナサイ、凡ソ官吏トシテ尋常ノ官吏デモ病氣ノタメニ或ハ缺勤、或ハ精神ノ衰弱モアリマセウガ、相當ノ時日ヲ猶豫シテ、到底快復ノ見込ノナイ者ヲ處分スルハ已ムヲ得ナイノデゴザイマス、然ルニ一方ハ終身官タル正義ノ會計検査員ヲ此法律ノ不備ヲ奇貨トシテ退官セシメタト云フコトハ、誠ニ會計検査院ノ不當ト斷言スルコトヲ私ハ憚リマセヌ、尙ホ原因ヲ訊ヌレバ、法律ノ不完全カラ、斯ノ如キ惡例ヲ増長セシメタルノデゴザイマスカラ斯ク改正シタイト思フノデゴザイマス、故ニ此三案ハ願ハクハ諸君ニ併テ同一ノ九名ノ委員ニ付托セラレテ十分ニ御審議ノアラントヲ希望スルノデゴザイマス

○鯨島相政君(百九十六番) 工藤君ニ質問致シタイ、澤山ゴザイマスカラシテ第一第二ト云フコトデ御尋致シマスガ、先ヅ此會計検査院長官評定員懲戒法案ト云フ、此方ノ質問、第一一條ノ第二デアリマス、第一一條ノ第二ニ、「職務上ノ威嚴又ハ信用ヲ失スヘキ所爲アリタルトキ」トアリマス、是ハ本人等ガ法律上ノ實行トシテ解釋ヲ下シマスルノニ、威嚴ト信用ト云フコトハ分割セシメズ、即チ威嚴ヲ失フノ所爲ハ信用ヲ失フノ結果ヲ生ズル、信用ヲ失フノ結果ハ自然威嚴ヲ失フノ結果ヲ來スノデアリマス、然ルニ「威嚴又ハ信用」ト斯ウナッテ居リマスガ、威嚴ヲ損シテモ信用ヲ保チ、信用ヲ失墜致シテモ尙ホ威嚴ヲ保ツト云フ場合アリマスカ、例ヲ擧ゲテ此點ハ説明ヲ願ヒタイ、是ガ第一ノ質問デアリマス

○工藤行幹君(二百六十八番) ツレハドノ法案デアリマスカ

○鯨島相政君(百九十六番) 第一條ノ第二項

○工藤行幹君(二百六十八番) 法案ハドレデ...

○鯨島相政君(百九十六番) 會計検査院長官評定員懲戒法案

○副議長(元田肇君) 是モ諸君ニ御諮リ致シマスガ、議事日程ハ第四タケデアアルガ關聯シテ居ルカラ、イツソモウ凡テ工藤君ニ御尋ニナリタイト云フ方

ハ第四、第五、第六ニ就イテ質問ヲ許シタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、如何
デスカ

〔賛成々々ノ聲起ル〕

○鯨島相政君(百九十六番) 御分リニナリマシタカ

○工藤行幹君(二百六十八番) 宜シイ

○鯨島相政君(百九十六番) ソレカラ第三條ハ正面カラ解釋スレバ、懲戒ヲ
適用スベキヤ否ヤハ、所犯ノ輕重ニ從ヒ懲戒裁判所之ヲ定ムルアル、第
一條第一項ノ犯罪ガアツテモ、第二條ノ懲戒ヲ適用スルカ、無罪ニスルカト
云フコトハ、懲戒裁判所之ヲ定ムルコト云フコトニナリ居ル、サリナガラ是
ハ提出者ノ何カ文字ノ落チデモナイカト思ヒマスガ、此第三條ハ前條何レノ
懲罰ヲ適用スベキト言ヘバ、即チ犯罪ガアツテ譴責ニ處スルカ、減俸ニ處ス
ルカ、免職ニ處スルカト云フコトハ、懲戒裁判所ニ任ズト云フコトニナリマ
スガ、此三條ノ文面デハ如何ニ曲解シテモサウハナラナイ、是ハ如何ナル御
趣意デ御定メニナツタノデアリマスガ、是ガ第二ツレカラ第三ノ質問ハ、唯
今ノ第三條ノ末項デアアル、懲戒裁判所ハ第一審ヲ以テ終審トス、斯ウ
ナツテ居ル、是ハ全體ノ意ハ大審院デ懲戒裁判所ハ開クトナツテ居リマスガ
ラ、第一審デ終審トナルノデゴザイマセウガ、本員等ノ考デハ、隨分事實ノ
間違カラ過誤ノ裁判ヲ下シ、或ハ法律ヲ不法ニ適用スルト云フヤウナコト
ハ多々日本ノ司法部内ニハアルヤウニ考ヘテ居ル、然ルニ懲戒裁判ニ限リテ、
唯第一審ヲ以テ終結シテ上訴ノ門ヲ開イテナイ、無罪ニナル者ヲ有罪ニ處シ
テモ、有罪ニナル者ヲ無罪ニ處シテモ、之ヲ上訴スルコトガ出來ナイト定メ
タ、其理由ハ如何、第四デゴザイマス、此第六條ノ懲戒裁判所ノ組織ヲ見マ
スルニ、最も必要ナル書記ヲ置イテナイ、書記ト云フモノハナケレバ、裁判
所ノ構成ハ成立タヌ答デアリマスガ、書記ガナイトスレバ、辯論ノ調書モ裁
判長ガ作リ、判決ノ正本謄本原本モ皆裁判長ガ作リ、又之ヲ送達スル手續モ
裁判長ガスルノデアリマスガ、ソレカラ第五デゴザイマス、第十四條ノ第二
項ノ末文ニ被告人ニ最終ノ發言ヲ許スベシト云フコトガアル、然ルニ此法案
ニハ原告ト云フモノハナイノデアアル、然ルニ最終ノ發言ヲ許スト云フハ、ド
ウ云フ譯デアアルカ、普通ノ刑事裁判ニハ、檢事ト云フ原告官ガアツテ、被告
人ト相對シテ居ルカラ、被告人ノ利益ノためニ、最終ノ發言ヲ許スコトニナ
テ居ル、然ルニ此法案ニハ原告官ハナイ、被告人ノミデ最終ト云フコトハナイ
答デアアル、始終被告人ガ饒舌ツテ居ル、是ハ如何ナル譯デ、斯ウ云フ事ヲ書
イタカ、ソレカラ第六ニハ、評定官ハ終身官デアアル、然ルニ之ニ時効ノ規定
ヲ設ケナイ、三十年四十年職ニ就イテ居ルモノガアラウト思フ、ソレヲ何十
年經テ發覺シテモ處分スルト云フノデアアルカ、之ガ最終ノ質問デス、以上

ノ質問ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒマス、尙ホ一言附言シテ置キマスガ、本員モ斯ウ
云フモノガ必要ト云フコトハ思フテ居リマスガ、餘リ分ラナイカラ伺ヒマス
○工藤行幹君(二百六十八番) 大變入組シタ質問デ、私モ法文杯ニハ文章ガ
拙イヤツデアアルカラ、逐條ノ御討論ガアルナラバ、後トデ御修正ハ如何デゴ
ザイマスガ、尙ホ強テ自分ノ心得ヲ申セト云ハル、コトナラ申シマスガ、時
間モ取ルコトデアリマスガ、委員會ナリデ後トデヤツテハ如何デス
○鯨島相政君(百九十六番) 苛メ主義デヤツタノデハナイ、御考案ガアルナ
ラ、伺ヒタイト思フデ……

○工藤行幹君(二百六十八番) 多少アリマスガ、餘リ長ウアリマスカラ、後
トデ述べルトシテハ如何デスカ……

○副議長(元田肇君) 別ニ御質問モゴザイマセヌカ

○龍野周一郎君(百四十一番) 唯今工藤君ノ御演說ニ對シテ百九十六番ガ誠
ニ必要ナル質問ヲ爲サレマシタ、私共モ本案ヲ議スルニ附イテ、此質問ハ是
非トモ答辯ヲ聞キタイト希望シテ居ル、而シテ百八十六番ガ本會ニ於テ質問
ヲサレタ以上ハ、此質問ハ本會ノ共有ノ質問ト申シテ宜イ、然ルニ、工藤君
ト百九十六番ト示談ヲシテ答辯ヲシナイヤウニスルハ、甚ダ面白クナイト思
ヒマスガ、本員ハ更ニ本會ニ於テ百九十六番ヨリノ質問ニ對シテ明ナル答
辯アラント希望致シマス

〔此時「ヤリ給ヘ、ヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ〕

〔工藤行幹君演壇ニ登ル〕

○工藤行幹君(二百六十八番) 第一一條ノ第二ニ威嚴又ハ信用ヲ失フト
云フノガアリマス、是ハ讀デ字ノ如ク威嚴又ハ信用ヲ失フト云フコトデゴ
ザイマス、外ニ意味ハナイノデアリマス、ソレカラ第二ハ字ガ落チテ居
トカ云フコトデスガ、ドウ云フノデス

○鯨島相政君(百九十六番) 第三條ニ前條ノ懲罰ヲ適用スベキヤ否ヤハ、所
犯ノ輕重ニ從ヒ懲戒裁判所之ヲ定ムベシトアリマス、ソコデ第一一條ノ第一第
二ノ犯罪ガアツテモ、第二條ノ三ツノ刑罰ヲ施スハ所犯ノ輕重ニ依ツテ定ム
ト云フコトニナル、アナタノ御考ハ第一一條ノ第一第二ノ犯罪ガアツタ場合ニ
譴責ニ處スルトカ、減俸ニ處スルトカ、免職ニ處スルトカ云フコトハ、裁判所
ガ輕重ニ依ツテ定ムト云フ考デアアルカ、ドウカト云フコト……

○工藤行幹君(二百六十八番) 勿論サウデアリマス、譴責ニスルカ、又ハ減
俸ニスルカ、免職ニスルカハ、裁判所ガ定ムルノデアリマス、ソコデ「何レ」
ノ字ガ漏レテ居リハセヌカト云フナラ、宜シク御修正ナサイ、ソレカラ懲戒
裁判所ハ、第一審ヲ以テ終審トシタノハ、此裁判所ハ大審院長大審院ノ判事
行政裁判所ノ評定官會計検査院ノ評定官ト云フ立派ナ人ヲ以テヤルノデアリ
マスカラ、差支ナイト云フ積リデアリマス、ソレデ間違ガアレバ已ムヲ得ナ

イト云フ考デス、ツレカラ餘リ長イモノデスカラ忘レマシタガ、何デシタカ
○鯨島相政君(百九十六番) 第六條ニ懲戒裁判所ノ組織ヲ書イテアル、之ニ
書記ガ置イテナイ、裁判所ノ構成ニハ書記ガ必ズ必要デアル、書記ガナケレバ
裁判長ガ辯論ノ調書モ作ラナケレバナラス、判決ノ正本、謄本、原本ト云フ
モノモ作ラナケレバナラス、サウナルノデアリマス、ドウカト云フコト……
○工藤行幹君(二百六十八番) 是ハ裁判所ノ事ハ不案内ヲ落チテ居ラタカモ
知レマセマ、自分ノ考ハ大審院長トカ大審院ノ判事トカ云フモノデアリマ
スカラ、書記ト云フ名目ヲ附ケテ置カヌデモ、大審院長ガ自ラ書クトモ、書記
ニ書カセヤウト、ソコハドウデモヤルト思ヒマシタカラ、斯ウシテ置イタノデ
ス、併シ御修正ガアレバ、ドウカ願ヒマス、其次ハ忘レマシタ、モウ一度……
○鯨島相政君(百九十六番) 次ハ被告人ニ最終ノ發言ヲ許スト云フコトデア
ルガ、其コト……

○工藤行幹君(二百六十八番) 分リマシタ、是ハ前ノ七條ニ在ル通、評定官
二名連署シテ檢事總長ニ申告スル、檢事總長ハ之ヲ申立テ、此裁判所ヲ開ク
ノデゴザイマスカラ、矢張被告人トシテ、サウシテ最終ノ申立ヲ爲サシムル
ト云フコトニシテ差支ナカラウト思ヒマス、併シ御差支ガアルト云フナラバ、
是モ前同様御修正ナサルガ宜イ——宜ウゴザイマス

○丸山嵯峨一郎君(二百七十一番) チョット質問致シテ置キマスガ、大體ニ
於テハ大イニ宜イコトデアリマスガ、此中ニ衆議院カラ三名ノ議員ヲ選出シ
テ、評定官ニスルト云フコトガアル、此評定官ニ任ゼラレタ間ハ、衆議院議
員デ評定官アルノデスカ

○工藤行幹君(二百六十八番) 勿論議員カラ兼ネテ居ル積リデアリマス
○副議長(元田肇君) 大抵質問モ要領ヲ得タラウト思ヒマス、先刻工藤君ヨ
リ委員ニ付スルヤウニト云フコトヲ言ハレタヤウデスカラ……

(賛成)ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) ツレデハ工藤サレ——明ニ……

○工藤行幹君(二百六十八番) 此三案ヲ併セテ九名ノ委員ニ付託シタイト云
フノデアリマス

(賛成)ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 議題トシテアルノハ第四タケデ……

○工藤行幹君(二百六十八番) 先刻説明スルトキ、議長ニ御斷リスルニハ、
左様御斷リヲシマシタガ、演壇ニ登テ希望ヲ述べタ所ハ、第四、第五、第六
ハ關聯シテ居リマスカラ、之ヲ同一ノ委員ニ付託シタイ、故ニ之ヲ九名ノ委
員ニ付託シタイト云フ希望ヲ述べタノデゴザイマス
○副議長(元田肇君) 委員ハ九名デスカ

○工藤行幹君(二百六十八番) 九名デス
○副議長(元田肇君) 斯ウ決ヲ採ラウト考ヘマス、先ツ第四ニ附イテ決シマ
ス、第四ノ案ヲ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリ
マセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 次ニ第五ノ議事日程ニ移ルノデアリマスガ、既ニ質問
等モ了ラテ居リマスカラレテ、直チニ決レマス

第五 會計検査院長官評定官懲戒法案(工藤行幹君 第一讀會
外二名提出)

會計検査院長官評定官懲戒法案

第一章 總則

第一條 會計検査院長官評定官ノ懲戒ハ左ノ場合ニ於テ臨時懲戒裁判所ノ
裁判ヲ以テスヘシ

第一 職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

第二 官職上ノ威嚴又ハ信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第二條 懲罰ハ左ノ如シ

第一 罷責

第二 減俸

第三 免職

第三條 前條ノ懲罰ヲ適用スヘキヤ否ハ所犯ノ輕重ニ從ヒ懲戒裁判所之ヲ
定ムヘシ

懲戒裁判所ハ懲罰ノ適用ヲ定ムルニ當リ平生ノ行狀ヲ斟酌スルコトヲ得
懲戒裁判所ハ第一審ヲ以テ終審トス

第四條 減俸ハ一年以上以下年俸月割三分ノ一以内ヲ減ス

第五條 免職ノ言渡ヲ受ケタル者ハ現任ノ官ヲ失ヒ及恩給ヲ受クルノ權ヲ
失フ

第二章 懲戒裁判所

第六條 懲戒裁判所ハ大審院ニ置キ左ノ職員ヲ以テ組織シ大審院長ヲ以テ
裁判長トス

大審院長

大審院判事

行政裁判所評定官

會計検査院評定官

二員

二員

二員

第七條 懲戒裁判所ハ檢事總長ノ申告ニ依リ内閣總理大臣ニ於テ其ノ裁判長及裁判官ヲ任命シ之ヲ構成ス

懲戒ハ會計檢査院長官若ハ評定官三名以上ノ連署アルトキハ之ヲ檢事總長ニ告訴スルコトヲ得

第八條 懲戒裁判官ノ忌避回避ニ付テハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第九條 懲戒裁判所ハ事件終了毎ニ之ヲ解ク

第三章 裁判手續

第十條 懲戒裁判開始及其ノ判決ハ懲戒裁判官合議ニ於テ過半数ヲ以テ之ヲ決定ス

第十一條 開始ノ決定ハ懲戒スヘキ所爲及證據ヲ開示シ裁判長ヨリ被告ニ送達スヘシ

第十二條 懲戒裁判長ハ口頭辯論ノ期日ヲ定メ被告人ヲ呼出スヘシ

第十三條 辯論ハ之ヲ公行セシ

第十四條 口頭辯論ハ開始決定ノ朗讀ニ始マルモノトス

裁判長ハ先ツ被告ヲ審訊シ次テ證據調ヲ爲シ被告ヲシテ證據ノ結果ニ付辯論ヲ爲サシメ被告人ニ最終ノ發言ヲ許スヘシ

第十五條 被告人ハ他人ヲシテ辯護セシメ又ハ代理人ヲ用井ルコトヲ得

第十六條 懲戒裁判長ハ事件ノ辯論既ニ十分ナリトスルトキハ之ヲ終結シ評議決定スヘシ

第十七條 評議決定ノ上ハ主文及其ノ理由由願末ヲ書記シ之ヲ被告人ニ言渡シ同時ニ内閣總理大臣ニ之ヲ報告スヘシ

但減俸ノ懲罰ヲ言渡シタル場合ニ於テハ會計檢査院ニモ通知スヘシ

第十八條 懲戒スヘキ所爲ハ本法實施前ニ關スルモノト雖モ本法ニ從ヒ之ヲ訴追ス

〔委員付託〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 次ニ第六ノ日程ニ移リマス

ヨリ九名ノ委員ヲ指名シテ共ニ付託スルコトニ決シマス、次ニ第七登錄稅法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、齋藤良輔君

第七 登錄稅法中改正法律案(齋藤良輔君外十名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○齋藤良輔君(二百四番) 本案ハ去ル二十六日ニ委員會ヲ開キマシテ、其委員長理事ハ、一昨日議長ヨリ報告ニナリテ通ニ定マリマシタ、而シテ二十六日ニハ政府委員モ出席致シマシテ、十分ノ審議ヲ致シタ末、御報告致シタ通ニ可決致シマシタコトデゴザイマス、其可決致シタル所ノ趣意ヲ聊カ述ベマスガ、第五條第二項「トアルヲ」第一項「ト致シマシタ、是ハ理由ノアル譯デアアリマセヌ、全ク第一項ナノデゴザイマス、其項ノ末ニ「及十號十一號」トアリマスルノヲ削リマシタ、之ヲ削リマシタノハ、即チ第三項目ニアリマス、

「十一號」次ニ左ノ如ク追加ス」トゴザイマス、其ノ抹殺シマシテ、「十號十一號」左ノ如ク改ム」斯ウ云フコトニ致シタノデゴザイマス、コレ故ニ其次ノ項ニアル「十二」ト云フ所ガ「十」トナリマス、「十三」ト云フ所ガ「十一」トナリマス、次ニ十號ノ「地租條例第二十二條ノ地價ノ設定」トアリマス、

「修正」ト改メマシテゴザイマス、二十二條ノ全文ヲ讀ンデ見マスルト、地價ノ定ムトゴザイマス、即チ設定ト云フコトニ解釋ヲ致シテ居リマシタガ、全ク當局者ノ扱フ所ヲ調ベテ見マスルト、修正ニナルノデゴザイマス、固ヨリ荒地ニナリタモノガ舊ノ地價ニナレバ復舊トナリ、又地價ノ増減ト申シマスノハ取リモ直サズ、修正トナルノデゴザイマス、設定ヨリハ修正ノ字句ガ當ツテ居ルト云フ所カラ、斯様ニ致シマシタ、次ニ「第二項ヲ刪ル」ト云フノヲ抹殺致シマシタ、即チ現行法ノ通ニ致シマシテ、此現行法ノ法文ヲ讀ンデ見マス、

「本條中地價未設定ノ土地ハ近傍類地地價ノ比準ニ依ル」トゴザイマス、然ルニ實地ニ之ヲ適用スル所ヲ見マスルト、多ク鄰地ノ比較ヲ取ツテ、居リマシテ、如何ナル惡地デアツテモ、鄰地ガ上地ニナリテ居ルト、皆此鄰地ノ比較ニ依ツテ地價ヲ定メテ居ル、斯様ナコトデハイカニト云フコトカラ、之ヲ削除スルト云フコトデゴザイマス、然ルニ當局者ト能ク論ジテ見マスルト云フコト、類地ト云フコトガ骨子トナリテ居ツテ、近傍ガ惡地ナレバ、惡地ノ類地ヲ擇ンデ之ヲ比準スルト云フコトニナリテ居ルノデアリマス、

カラ、左様ノコトガアルナラバコトヲヨリ訓令ヲ出シテ、決シテ間違ナイヤウニ致シタイカラシテ、之ヲ存立シタイト云フ當局者ノ望ミデアリマス、成ル程段々玩味シテ見ルト、サウ云フコトモゴザイマセウニ依ツテ、存立シタ方ガ宜カラウト云フコトニ決シマシタノデゴザイマス、次ニ附則ヲ加ヘテアリマシタヲ抹殺致シマシタ、其故ハドウ云フ譯カト申マス、此納稅ナルモ

明治二十九年法律第九十一號中改正法律案 第一讀會

ノハ直稅デナク間稅ヨリ成立ッテ居ル印紙稅デゴザイマス、ソレヲ返スト云フコトハ、容易ナラヌ手段デゴザイマス、例ヘバ三萬圓ダケ返スニハ、三萬圓ノ金ヲ費スト云フ傾キガゴザイマスノデ、到底ハハムツカシイコトデアル、尤モ納メタモノデアルカラ、今後改正スレバ、是マデノ所ハ餘儀ナイ、ソレ故ニ之ヲナク致シマシタ、又之ヲナクシマシテモ此修正ノ通りニ致シマスレバ、聊カ憂フル所ハゴザイマセヌ、ソレカラ九號ガ千分ノ一トナリマス、地價ノ復舊モ千分ノ一トナリ、地租條例二十二條ノ地價ノ修正モ千分ノ一トナリマス、此憂ハ殘ラズ省ケテ、誠ニ完全ナモノニナルト信ジマス、全會一致ヲ以テ、此通り修正可決致シマシタ、此段報告致シマス

○副議長(元田肇君) 別段ニ御論ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(元田肇君) ソレデハ決ヲ採リマス、本案ノ一讀會ヲ開クニ同意ノ諸君起立ヲ請ヒス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(元田肇君) 御起立アリマセヌケレドモ、異議ナシト云フ聲ガ満場ノ御一致ノヤウニ聞エマスカラ、二讀會ヲ開クコトニ決シマス

〔讀會省略ト呼フ者アリ〕贊成々々ノ聲起ル

○副議長(元田肇君) ソレデハ、讀會省略シテ直チニ確定議ヲ致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

登錄稅法中改正法律案

確定議

○副議長(元田肇君) 委員會ノ報告ニ就イテ先ツ決ヲ採ラナケレバ差支ヘルヤウニ思ヒマス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(元田肇君) 委員長ノ報告通ニ確定シテ異議ナキモノト認メマス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(元田肇君) 然ラバ委員長ノ報告通り確定致シマス、次ハ第八製鹽調査ニ關スル建議案、朗讀ハ省キマス

第八 製鹽業調査ニ關スル建議案(田邊爲三郎君外四名提出)

〔橋本久太郎君演壇ニ登ル〕

○橋本久太郎君(二百十二番) 私ハ、此製鹽業調査ニ關スル建議案ヲ提出シテ居リマス、一人デゴザイマスルカラ、此理由ヲ簡單ニ述ベマセウト思ヒマス、尤モ此理由ハ大抵此建議書デ盡セテ居ル心得デゴザイマスルノミナラズ、尙ホ其足ラザル所ハ、理由書ニ於テ十分盡シテ居ルコトデゴザイマスガ、併ナガラ、此事ハ始テ本會ニ顯レタモノデゴザイマスルガ故ニ、尙ホ念ノタメニ一言致シマスルガ、抑、諸君御承知ノ如ク、此鹽ナルモノハ、人間一日モ生

活上缺クベカラザル必要品デアルノミナラズ、又農工業必需ノ物品デゴザイマスル、サレバ人間ガ増加スル共ニ、又人間ノ生活ノ度ガ進ムト共ニ、及農工商ガ發達スル共ニ、此鹽ヲ需用スル所ノ區域ガ擴テ來マシテ、是ヲ十分供給スルコトヲシマセネバナリマセヌ必要ガ生ジテ來マスルコトハ、是亦喋々ノ辯ヲ要シマセヌ、幸ニ本邦ハ此鹽ヲ產出シマスル所ガ一府三十三縣デゴザイマスルコトデ、鹽田ノ數ハ七千餘町步デゴザイマシテ、其產額ガ凡ソ一箇年ニ七百萬カラ一千万位モ產出ヲ致シマスル、而シテ鹽戶ハ七萬戸デゴザイマシテ、鹽業人ハ二十萬カラゴザイマス、而シテ此鹽ヲ產出シマスル土地ハ、内國ハ此通りデゴザイマスルガ、諸君御承知ノ通り、新領土ノ臺灣デゴザイマスル、此臺灣ニ於テハ、所謂天日製ト申ス即チ日ト風トニ依ッテ鹽ガ出來ル、至ッテ生産費ノ要ラナイ良イ鹽ガ出來ルデゴザイマスガ、是ガ新領土トナッテ居リマス、而シテ内地ニ於テハ前申シマシタ外ニ、マダ一千町步位ノ產出スベキ見込ノアル土地ガゴザイマス、中ニ臺灣ニ於テハ、二千町步位ノマダ產出出來ヤウト思フ見込ノ土地ガゴザイマス、デ、試ニ此唯今ゴザイマスル鹽田竝ニ唯今申上ゲル如キ見込ノアル即チ鹽地ヲ十分ニ開キマシテ、且又其鹽ヲ改良シ、製産費ヲ廉クシマシタラバ、内地ガ是カラ十分人口ガ増シ、農工業ガ發達シ、及ビ生活ノ度ガ進ミマシテモ、是ニ供給スルニ餘リアルノミナラズ、尙ホ進シテ外國ニマデモ輸出スルコトガ出來ルト云フ位有望ナモノデゴザイマスル、然ルニ近時ノ現況ハ此鹽ニ對シテドウデゴザイマセウカト思ヒマスルト、近時ニ於キマシテハ、甚ダ憂フベキコトガ顯レテ居リマス、ソレハ外ノコトデハゴザイマセヌケレドモ、即チ外國カラ輸入スル所ノ有様ガ顯レテ居リマス、明治十六七年頃ニハ輸入スル鹽ニ對シテ外國ニ拂フ金ガ、百圓カラシテ、凡ソ七百圓内外ノ金デゴザイマシタガ、二十五年ニ至ルト、此金額ガ二千二百十三圓、二十六年ニハ三千四百三圓、二十七年ニハ四千九百二圓ト云フ金ニナッテ居リマス、而シテ二十八年ニハ三千二百四十二圓、二十九年ニハ五千六百五十三圓ト云フ高價ナ金ヲ外國ヘ拂フコトニナッテ居リマシタ所ヘ、即チ昨三十年度ニ於キマスルト云フト、頓ニ上ッテ十一萬四千八百二十四圓ト云フ金ヲ外國ニ拂ハヌナラヌ位ノ有様ニ陥リマシタ、是ハ抑、何デゴザイマスカト申シマシレバ、即チ二十九年ノ秋カラ冬ニ掛ケマシテ、大變此鹽ガ昂リマシタ生産費ガ増シ、又鹽ノ產額ガ少イタメニ鹽價ガ昂リマシタ結果、頓ニ輸入ヲ増スコト、ナッテ來マシテ、前ニハ外國ノ鹽ヲ使フ所ノ區域ガ、或ハ西洋料理其他藥品ニ用ヒ、化學用ニ使フ位ナ少額ナモノデゴザイマシタ所ガ、唯今申シマシタ如ク、鹽ガ高イノト、ソレカラ内地ノ產出ガ少イタメニ必要ニ釣ラレテ輸入シタ所ガ、大變都合ガ宜シイノデ、其以後續々ト此輸入ガ増スノ有様ニ陥ッテ來マシタガ、甚ダハ國家經濟上ニ取ッテ容易ナラヌコト、私共ハ深ク憂フル點デゴザイマスルデ、私共

ノ建議致シマシテ趣意ハ、此通り外國カラ輸入スルコト云フノハ、畢竟スル所價ガ貴イバカリデハナクシテ、我日本ノ鹽ノ品質ガ惡ルコト云フコトガ、餘程外國品ノ輸入ヲ招ク基ニナリテ來マシタ、抑諸君御承知ノ如ク、我日本ノ鹽ナルモノハ、多クハ古來ノ習慣故俗ニ依ッテ大概產出シテ居マス、故ニ製産費ハ非常ニ高クナリテ來マスルガ、生産費ガ高クナリテ來ルト共ニ、價ガ高イ、價ガ高フテ而シテ品物ガ惡ルコト來マス、故ニ此儘ニ打抛ッテ置イタナラバ、實ニ斯ノ如キ即チ一府三十三縣ニ亙ッテ居ル所ノ此區域ノ廣キ、而モ七千町歩カラアル鹽田デアルニ、唯今申上グタヤウナ有様デ抛ッテ置イタナラバ、實ニ國家經濟上由々シキ事ニナルノミナラズ、此鹽民ノ不幸ハ測ラレヌ有様ニ陷ラウト思ヒマス、殊ニ諸君御承知ノ如ク、他ノモノト違ッテ、此鹽田ヲ實ニ外鹽ノタメニ壓倒セラレテ、潰シテ仕舞ハネバナラヌヤウナコトニナリタナラバ、他ニ此鹽田ナルモノハ用ヒ處ノナイモノデゴザリマスルカラ、實ニ此位多數ナ鹽田ヲ一時ニ荒廢ニ付シテ仕舞タナラバ、鹽民ハ糊口ニ苦マヌナラヌト云フ有様ニ陷ルコトハ、見エテ居リマスル、故ニ此鹽ノ品質ヲ改良スルコト、生産費ヲ廉クスルコト云フコトノタメニハ、一ツ茲デ諸君心配ヲシナケレバナリマセヌガ、即チ其心配ヲ致シマスルニ附キマシテモ、先ヅ此鹽業調査所ト云フモノヲ置キマシテ、其中ニ或ハ民間ノ鹽田ヲ多年耕シテ居ル者、又鹽田ヲ持ッテ其業ニ當ッテ居ル者ト召集シマシテ鹽業會ヲ開キマシテ、ソレ等ノ意見ヲ聽クナリ、又内地ノ生産方ニ於テモ餘程講究モシ、改良モシ、臺灣ノ鹽等モ調査シ、又ソレカラ發明スル所ノ改良法モ出來ルカモ知レマセヌガ、免ニ角十分ニ是ヲ調査シ、是ヲ改良シテ、一ハ外國カラ輸入スルノ道ヲ防ギノミナラズ是カラ外國ヘデモ輸出スル位ノコトニ致シタイト思ヒマスル、唯今申上ゲマスル通デゴザリマスルガ、此外國ヘ輸出スル所ノ道ガナイカアルカト言ヘバ、隨分是モアルノデゴザリマスル、諸君、御承知デモゴザイマセウガ、明治二十七年ニハ輸出モゴザイマシタガ、此輸出ノ金額ガ二十七年ハ五萬圓デゴザイマシタ、二十八年ニハ八萬圓輸出シマシタ、二十九年ニハ十三萬圓輸出シマシタ、三十年ニハ二十萬輸出シマシタガ、是ハ專ラ露領ノ浦潮斯德其他朝鮮等ノ地方ニ向ケテ輸出シマシタガ、此内地ノ即チ製造費ヲ十分廉クシテ鹽價ヲ廉クシ、オマケニ品料ヲ良ク致シマスレバ、或ハ印度地方濠洲地方ヘモ輸出スルコトノ途ガ開ケルカト、私共ハ思ヒマスルカラ、ソレデ今日ニ於テハ、單ニ輸出ヲ防クノミナラズ、内國ノ需用ヲ充スト共ニ、外國ニ輸出スル位ノコトニ致シタイト思ヒマスルガ故ニ、此建議案ヲ出シマシタノデゴザイマス、承ハリマスルト、昨日ハ貴族院ニ於キマシテモ、此建議案ガ提出サレタサウデアリマスガ、願ハタハ諸君ニ於キマシテモ、此建議案ハ唯今此滿堂ニ於テ御容

レ下サルノミナラズ、直チニ可決シテ政府ヘ提出スルヤウナ運ビニ付ケタイト切望ノ至リニ堪ヘマセヌ次第デゴザイマスルカラ、ドウゾ願ハクハ諸君ニ於テハ即チ國家經濟ノタメ、鹽業民ノタメニ、偏ニ御贊成アラント切望ニ堪ヘマセヌ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○秋原正夫君(二百九十七番) 提出者ノ御熱心ナル御演說モゴザイマシタガ、是ハ一應審査ヲ致シタク存シマス、故ニ議長指名ノ特別委員九名ニ付託セラレンコトヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 御贊成ガゴザイマスカラ決ヲ採リマス、議長指名ノ特別委員九名ニ付託スルコトニ云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナレ〕ト呼フ者アリ

○副議長(元田肇君) 御異議ガナイト認ママスルニ依ッテ、議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、次ニ代議士選舉ニ關スル心得方ヲ小學教科書ニ編入スルノ建議案二百九十六番

第九

代議士選舉ニ關スル心得方ヲ小學教科書ニ編入スル建議案(利光鶴松君外四名提出)

代議士選舉ニ關スル心得方ヲ小學教科書ニ編入スルノ建議案

立憲政體ノ完美ヲ計ルハ今日ノ急務ニ屬ス而シテ選舉場裏ノ惡弊ヲ除却スルハ立憲政體ヲ完美ニスル所以ナリ選舉場裏ノ惡弊ハ千差萬別ナレトモ之ヲ大別スレハ法律ノ不完全ニ基因スルモノト人民智德ノ缺乏ニ基因スルモノト二種ニ外ナラス法律ノ不完全ニ基因スル惡弊ハ選舉法ノ改正ニ依リ矯正スルヲ得ヘシト雖モ智德ノ缺乏ニ基因スル惡弊ハ教育ノ力ヲ以テ漸次之ヲ矯正スルノ外ナレ單ニ選舉法改正ノ一事ニ依賴シ以テ選舉ノ惡弊ヲ除却シ憲政ノ完美ヲ期シ得ヘシト信スルハ皮相ノ見解タルヲ免レヌ

選舉ニ關スル惡弊中其害毒ノ最モ甚キヲ賄賂トス而シテ賄賂ハ巧妙ノ手段ニ依リテ隱微ノ間ニ行ハルヘキモノナレハ之ヲ杜絶スルハ到底法律ノ企及スル所ニアラス特ニ教育ノ力ニ賴リテ人心ノ根底ヨリ之ヲ矯正スルヲ要ス

故ニ政府ニ於テ速ニ代議士選舉ノ心得方ヲ小學教科書ニ編入スル爲メ適當ノ措置ヲ施サレンコトヲ望ム

右建議候也

〔利光鶴松君演壇ニ登ル〕

○利光鶴松君(二百九十六番) 私ノ建議案ハ隨分奇妙ト云フコトニ云ヒマス

レバ、奇妙ニモ見エマスル、ソレカラ何デモナイト申シマスルト、何デモナイヤウニモ見エマスルガ、併ナガラ私ハ此問題ハ決シテ小サナ問題デハナイ、我國ノ立憲政體ヲ完美ニスルト云フ上ニ於キマシテハ、最モ大切ナル問題デゴザイマシテ、即チ餘程重大ナル問題ト考ヘテ居リマス、今日立憲政體ノ完美ヲ計ラナケレバナラヌト云フコトハ、ドナタモ御異存ノナイコトデゴザイマス、サウ致シマシテ、立憲政體ノ完美ト云フコトハドウスレバ宜イカト申シマスルト云フト、詰リ立憲政體ヲ完美ニスルト云フコトニ付キマシテハ、此代議士選舉ト云フコトガ、最モ大切ナコトデゴザイマシテ、之ニ附帶致シマスル所ノ種々ノ弊害ヲ除イテ仕舞フト云フコトガ、最モ立憲政體ヲ完美ニスル所以ノ途デアラウト信ジテ居リマス、ナゼカト申シマスルト、選舉者ノ智徳ガ足りマセヌト、之ニ種々ノ弊害ガ起ツテ參リマスル、サウ云フヤウナ不完全ノ選舉カラ出マシテハ、決シテ立派ナル代議士ト云フモノハ得ラレナイ、又代議士ガ良クナケレバ、立派ナル政府ノアル管ガナイノデアリマス、詰リ立憲政體ヲ完美ニスルト云フコトニ附キマシテハ、此選舉ヲシテ完全ニ行ハシムル、即チ此選舉ニ附帶シテ起ル所ノ種々ナル弊害ヲ去ツテ仕舞フト云フコトガ、第一急要ナル次第デアラウト考ヘマスル、而シテ此選舉場裏ノ弊害ト云フモノハ、隨分皆様屢々御經驗デ手ヲ焼イタコトモゴザイマセウデゴザイマセウガ、隨分惡ルイ弊害カセ、ゴザイマス、併ナガラ其弊害ノ中ニ二ツアルノデアリマス、一ツハ此法律ノ不完全カラ參リマスル弊害デゴザイマス、今一ツハ人ノ頭カ惡ルイ——人ノ頭ガ惡ルイ、即チ選舉者ノ智徳ガ缺乏シテ居ルト云フ所ニ起因ヲ致シテ居ル所ノ弊害デゴザイマス、斯ノ如クニ此選舉場裏ノ弊害ヲ區別シマスレバ、二ツデゴザイマシテ、其法律ニ起因致シテ居ル弊害、即チ法律ノ不完全カラ起ツテ參リマスル所ノ弊害ハ、選舉場ヲ改正シマスレバ、先ヅ是ニ依ツテ幾分か其弊ヲ救フコトガ出來ルデアリマセウ、即チ今回選舉法ヲ提出セラレタノモ蓋シ其意ニ外ナラヌデアリマセウ、併ナガラ、諸君唯法律ヲ幾ラ改正シテ見マシタ所ガ、此人間ノ頭ガ不完全即チ選舉者ノ頭ガ不完全デ、立憲的智徳ガ缺乏致シテ居リマシタ時分ニハ、決シテ此立憲政體ヲ根柢カラ完美ニスルト云フコトハ望マレナイデアラウト思ヒマスル、ソレデ今日選舉者ノ智徳ガ如何ニ不完全デアルカト云フコトモ又諸君ガ御實驗デアリマス、テ此選舉者ノ頭ノ惡ルイト云フコトカラ起ツテ參リマスル弊害ヲ救フト云フコトハ、到底法律ノ力デハ往ケマセヌ、ナゼカト申シマスルト、法律ト云フモノハ大層強イヤウデアリマスガ、強イケレドモ亦極ク弱イモノデアリマス、法律ハ決シテ無學ノ者ヲ學者ニスルト云フ力モナケレバ、馬鹿ナ者ヲ利口ニスルト云フ力モ無い、又不徳ナ者ヲ道德家ニスルト云フ力モナイ、而シテ此馬鹿ナ者ヲ利口ニスル、或

ハ無學ノ者ヲ學者ニスル、不道德ノ者ヲ道德家ニスルト云フ、總テ此等ノ働ハ、法律ノ金及バザル所デアリマシテ、唯一ツノ教育ト云フモノ、力ニ依ラナケレバ、到底之ヲ望ムコトガ出來ナイノデアリマス、今日我國ノ此德育ノ方針ヲ見マスルノニ、總テ忠君——君ニハ忠義ヲシ、又親ニハ孝行ヲシ、此忠孝ノ二字ヲ以テ修身教育ノ二本ノ柱ト致シテゴザイマシテ、凡テ此二ツノモノヲ以テ、德育ノ源ト致シテアリマス、元ヨリ是ハ結構ノコトデ、是非サウナケレバナリマセヌガ、苟モ立憲政體ノ世ノ中トナリマスレバ、單ニ此忠孝ノ二ツノミ德育ノ本源ト致シテ、愛國ノ本義ト云フモノヲ以テ德育ノ本源ト致サズニ打捨テ、置クト云フコトハ、決シテ宜シクナイノデ、私ハ忠孝トノ此外ニ人ニハ、必ズ愛國ノ觀念ヲ養成スルコトガ必要ト考ヘマス、殊ニ此憲法政治ヲ行ヒマシテ、人民一般ニ參政ノ權利ヲ行ヒマスル以上ハ、ドウシテモ此觀念ヲ養成スルガ必要デアラウト思フ、サウ致シマシテ其方法ハドウ云フヤウニ致シタナラバ宜シイカト申シマスルト、之ヲ實際行フト云フコトハ、政府ノ指揮監督ノ下ニ置キマシテ、教育家ガ是ハ實際ノ任ニ當ラナケレバナリマセヌ、故ニ私ハ今申上ゲマシタ所ノ趣意ニ依リマシテ、政府ガ其指揮監督ノ下ニ於キマシテ相當ナル教育家ニ命ジマシテ、サウシテ小學教科書其小學教科書モ程度ハ、ドノ邊デゴザイマスルカ、私ノ考デハ、先デ高等科ノ三年乃至四年ト云フ邊ニ以テ之ヲ編入シテモ宜イト思フノデアル、而シテ其編入スルニ付イテハ、今申上ゲマスル通、其實行ノ手段ハ、政府及教育家ノ任デゴザイマス、又之ヲ任ジテ任セル外ハゴザイマセヌガ、此建議ノ趣意カラ申シマスルト云フト、先ヅ第一ニ私ハ防ガナケレバナラヌノハ、此賄賂ノコトデアリマス、今日ノ有様デ見マスルト、此選舉デ賄賂ヲ取ルト云フコトハ宜イコト、モ思ツテハ居リマセヌガ、併シツレ程惡ルイコト、モ思ツテ居ラヌヤウデアリマス、中ニハ一村ノ決議ヲ以テ、誰カラ幾ラ此村ニ金ヲ取ツテ、サウシテ學校ノ新築ノ足レニサウナント云フ者モ隨分アルサウデゴザイマス、此等ハ罪ノ輕イノデアル、畢竟知識ノ足リナイ所カラ、賄賂ノ最モ惡事醜行ト云フコトヲ了解シナイ、タメニ、斯ノ如キ事ヲシテ恥ヂナイト云フ有様デアリマスカラ、斯ノ如キ知識ノ缺乏シテ居ル者ニハ、尤モ此賄賂ト云フモノハ、愛國ノ本義ニ背クモノデアツテ、賄賂ヲ取ツテ、自分ノ意思ニ背ク人ニ投票スルナド、云フコトハ、實ニ憲政ヲ潰シ愛國ノ本義ニ背クト云フ筋合ヲモ知ラシメ、サウシテ、其他或ハ是ハ親類カラ頼マレタ、是ハ取引先カラ頼マレタ、是ハ懇意ノ人ニ頼マレタナドト言ヒマシテ、現在此人ニ投票シタイト云フ意思ガアリナガラ、誰ニ頼マレタカラ仕方ガナイト云フヤウナ、タダラナイコトデ、此投票權ヲ任意ニ行ハヌト云フモノガ澤山アル、此等ハ實ニ馬鹿々々シイ話デアル、斯ノ如キコトヲ輕ク見マシテ、

雖ニデモ彼ニデモ唯無暗ニ投票スルト云フコトハ、實ニ愛國ノ本義ニ背ク、其結果ハ實ニ立憲政體ノ消長ニ關スルヤウナ結果ニ相成ルト云フコトモ考ヘマセズニ、是等ハ皆知識ノ缺乏カラ參リマスノデゴザイマスルシ、中ニハ惡ルイト云フコトハ知リナガラ、ヤルハモアリマス、是等ハ德義ノ缺乏デゴザイマスルガ、要シマスルニ、其智德ノ缺乏カラレテ、種々様々ナル弊害ガ我國ニ今日行ハレテ居ルト云フコトハ、諸君モ定テ御實驗ノ上御認メニナツタコトデアラウト考ヘマスカラレテ、願ハクハ此建議ノ趣旨ニ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス、殊ニ私共ハ餘リ政府ニ向ッテ色々ナ建議ヲスルト云フコトハ、ドウデアラウカト云フ考デゴザイマスガ、諸君モ御承知ノ通、今日ノ政府ハ或ハ末松文學博士或ハ外山文學博士、又博士デゴザイマセデモ博士ヨリモ或ハ學問ガアリハセヌカト信ズル所ノ金子農商務大臣ノ如キ分子ヲ以テ組織シテ居リマス、故ニ私ハ今日ノ政府ハ他ノ點ニ於テハ餘リ感服ヲ致シテ居リマセヌガ、併シ斯ノ如キ問題ヲ解釋スルニ付イテハ、餘程適當ナル政府ト信ジマス、故ニ此時此内閣ニ向ッテ斯ノ如キ建議ヲスルト云フコトハ、或ハ當ヲ得タモノデアアルマイカト信ジテ居リマス、ドウカ漏場諸君モ之ニ御賛成アラント願ヒマス

○堀家虎造君(二百二十二番) 提出者ニ御尋ヲ致シマスガ、至極御尤ナ案トハ思ヒマスケレドモ、元來此教育ノコト、政治ノコトハ、別ナモノデゴザイマレテ、今日小學校アマリデハ、決シテ政治ノコトハ教科書ドコロデナク、一般ノ談話ニスラ禁シテアル位デゴザイマス、教育ト政治トハ、全ク別ナモノデアアルカラ、教場ニ於テ政治ノ談話ハスルナト云ウテ禁止シテアル、此場合ニ教科書ニ選舉ノコトヲ書クト云フコトニナレバ、詰リ教育ト政治トヲ混同スルト云フヤウナ嫌ハアリハレマイカ、其邊ハドウ云フ御考デアアルカ

○利光鶴松君(二百九十六番) ツレハアナノ御判斷次第デアリマスカ
——モウ宜シウゴザイマスカ

〔質問ナレト呼フ者アリ〕

○萩原正夫君(二百九十七番) 私ハ最モ本建議案ニ賛成シマスモノデアリマス、前同様矢張議長指名ノ特別委員九名ニ付託シテ十分ノ審査ヲ爲スコトニ

〔賛成イイト呼フ者アリ〕

○岡本松太郎君(二百三十七番) 二百三十七番
○副議長(元田肇君) 何デスカ、御質問デスカ
○岡本松太郎君(二百三十七番) 意見ヲ述べマス
○副議長(元田肇君) ツレナラ通告ヲ願ヒマス
○岡本松太郎君(二百三十七番) 意見ナラドウナリマス

○副議長(元田肇君) 意見ナラ他ニ通告モアリマスカラ順番ニ依ッテ發言ヲ許シマス、唯今議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フ動議ガ出マシタ、賛成者モアツタヤウデゴザイマス、別段御異議モナケレバ、サウ致シマス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(元田肇君) ツレデハ委員付託ト云フコトニ致シマス
○岡本松太郎君(二百三十七番) 此ナデスカ、建議案ニ付イテ特別委員ヲ拵ヘルト云フノデアリマスカ

○副議長(元田肇君) ツレハ今議長指名ノ九名ノ特別委員ニ付託スルト云フ決ヲ採ッテ濟ンダノデアリマス、本日ノ議事日程ハ是デ終リマレタカラ、明後日ノ議事日程ヲ報告シマス

〔寺田書記官朗讀〕

議事日程 第八號 明治三十一年五月三十日(月曜日)

午後一時開議

- | | |
|--|------|
| 第一 地租條例中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第三 宅地組換法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第五 所得稅法改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第七 明治二十九年法律第二十八號酒造稅法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第九 明治二十九年法律第二十九號自家用酒稅法廢止法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十一 明治二十六年法律第十七號酒精營業稅法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十三 明治二十九年法律第三十號混成酒稅法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十五 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十七 清國及韓國ニ於テ製造スル日本酒類輸入海關稅賦課ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |

第十九 鐵道公債、事業公債及北海道鐵道公債ヲ外國ニ
於テ募集スル場合ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
印紙稅法案(政府提出) 第一讀會

第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
不動產登記法案(政府提出) 第二讀會

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(報告) 第二讀會

第二十三 明治二十九年豫備金支出ノ件(政府提出承諾)
(報告) 委員長

第二十四 明治二十九年豫備金支出ノ件(政府提出承諾)
(報告) 委員長

第二十五 明治二十九年豫備金支出ノ件(政府提出承諾)
(報告) 委員長

第二十六 明治二十九年豫備金支出ノ件(政府提出承諾)
(報告) 委員長

第二十七 明治二十九年豫備金支出ノ件(政府提出承諾)
(報告) 委員長

第二十八 明治二十九年豫備金支出ノ件(政府提出承諾)
(報告) 委員長

第二十九 明治三十年法律第三十九號中追
加法律案(齋藤良輔君外三名提出) 第一讀會(續) 委員長

第三十 上奏案(鳩山和夫君外十名提出)
○副議長(元田肇君) 是テ散會致シマス

午後三時三十分散會